SHARP®

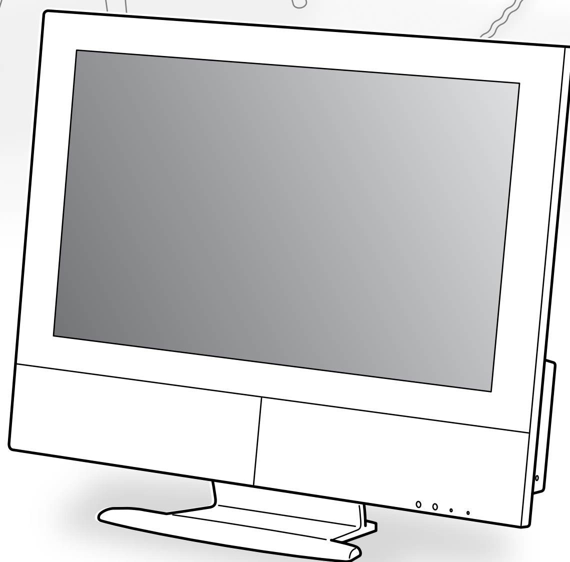
液晶マルチメディアモニター

形 名 **IT-32M2**

取扱説明書

はじめに
接続と準備
使ってみよう
テレビ・ビデオ
パソコン
マルチ画面
その他の使いかた
付録





お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。



このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

もくじ

はじめに

必ずお読みください

お使いになる前に知っておいてほしいことを記載しています。

接続と準備

本機を使用できる状態にします。

はじめてお使いになるときは、この章を順番にお読みください。

また、設置場所を変えるときや、機器を接続するときもお読みください。

使ってみよう

基本的な使いかたの説明です。

テレビやビデオを見る

テレビやビデオを見るための説明です。

パソコンの画面を見る

パソコンの画面を映すための説明です。

マルチ画面で表示する

パソコンの画面とテレビやビデオの映像を同時に表示することができます。

その他の使いかた

付　録

安全にお使いいただくために

図記号について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味　（図記号の一例です。）

 記号は、**気をつける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警告



電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。
電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。



雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因になります。



雷が鳴り始めたら、アンテナケーブルに触れないでください。
感電の原因になります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。



風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。
火災の原因になります。



水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。
液体や異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付いているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



アースを接続してください。
アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。またアースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠注 意


電源コードは、必ず付属のものを使用してください。
付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。


電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。
指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。


電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。


電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。
差込が不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因になります。また電源プラグの刃に触れ感電の原因になります。


火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間、旅行などで長時間使用しないときやお手入れのときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。


アンテナ工事は、技術経験が必要です。販売店にご相談ください。
送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。


ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。


直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。
発熱や発火の原因になることがあります。


あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。
通風孔をふさぐと、熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。


硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
破損してけがの原因になることがあります。


上に物を置いたり、上に乗ったりしないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。


改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。
火災や感電、けがの原因になることがあります。


健康のために、次のことをお守りください。
- 連続して使用する場合は、休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

⚠注 意



移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外してください。
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店に依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火、故障の原因になることがあります。（内部の清掃費用については、お買いあげの販売店にご相談ください。）



リモコン用電池の使用にあたっては、次のことをお守りください。
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因になることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因にもなります。

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- プラス（＋）とマイナス（－）の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 端子をショートさせないでください。
- 水や火の中に入れたり、分解をしないでください。
- プラス（＋）極とマイナス（－）極には触らないでください。汗や油などで電池ケース内の端子が腐食することがあります。

使用上のご注意

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

- 液晶パネルを強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。液晶パネルに力が加わると、破損や故障の原因になります。
- 使用温度(5～35℃)の範囲内でお使いください。範囲外での使用は、変形や故障の原因となります。
- 本機を寒い場所から暖かい場所に移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露(つゆつき)が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。)
- 急激な温度変化があるとき、表示品位が低下する場合があります。
- ご使用になる場所の温度が低い場合、映像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見える場合があります。(故障ではありません。常温に戻れば回復します。)
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。変色や傷の原因になります。
- アンテナケーブルを必要以上に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる場合があります。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検･交換を心がけてください。特に潮風にさらされるところやばい煙の多いところでは、傷み易くなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。
- TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
- 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
- CD-ROM内のユーティリティーの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。
- 本機は付属品も含め日本国内(AC100V)用です。海外では使えません。

高調波電流規格　JIS C 61000-3-2適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や、横縦比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

説明書の見かた

説明書で使用している記号について

ご注意	本機や接続している機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
Memo	参考情報や制限事項を記載しています。
☞	関連する説明が記載されているページを示します。

画面上のメニュー項目やボタンなどについて

メニュー項目、画面、アイコンの名称、およびボタンは、「　」で囲んで表記しています。

例）「チャンネル設定」を選ぶ。
「OK」をクリックする。

操作ボタンについて

リモコンのボタンは、イラストで表記しています。

例）（決定）を押す。

本体のボタンは、[　]で囲んで表記しています。

例）本体の[電源]を押す。

ボタンを併記しているときは、いずれかのボタンを押します。

例）（十字）で「本体設定」の「オートワイド」を選び、（決定）を押す。
（◀）または（▶）で「本体設定」を選んだあと、（▲）または（▼）で「オートワイド」を選び、（決定）を押します。

操作手順の表記について

主にリモコンでの操作方法を記載しています。
本体の操作ボタンを使う場合は、「本体の[○○]」と表記しています。

例）本体の[電源]を押す。

パソコンのキーボードのキーについて

パソコンのキーボードのキーを押す操作では、キーを【 】で囲んで表記しています。

例）【Esc】キーを押します。

略称について

この説明書では、以下を総称して「Windows」と表記しています。

・Microsoft Windows XP Home Edition
・Microsoft Windows XP Professional
・Microsoft Windows 2000
・Microsoft Windows Millennium Edition
・Microsoft Windows 98
・Microsoft Windows 95

画面について

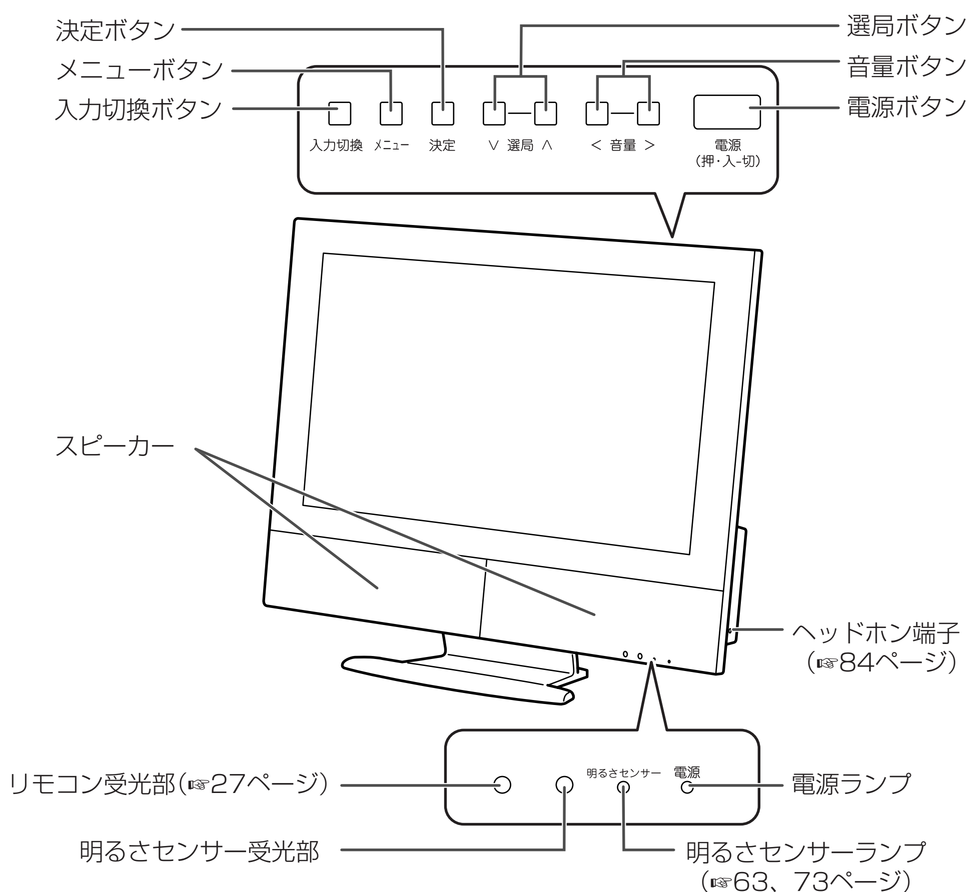
この説明書に掲載の画面は、説明用です。実際に表示される画面とは多少異なることがあります。

商標、登録商標について

- Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを搭載しています。
- そのほか、この説明書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

各部の名称

前面・天面



■ランプの色と本機の状態

電源ランプ

消灯 ………………… 電源が切れている状態
赤点灯 …………… 待機状態
オレンジ点灯 … パワーセーブ状態（PCモードのみ）
緑点灯 …………… 画面が表示されている状態

明るさセンサーランプ

明るさセンサーの状態を表示します。

消灯 ………………… 「切」
緑点灯 …………… 「入」

■本体ボタンのはたらき

入力切換ボタン

画面モードを切り換えます。

メニューボタン

メニューの表示を入／切します。

決定ボタン

選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

選局（∧／∨）ボタン

テレビのチャンネルを選びます。
メニュー表示中はカーソルを上下に動かします。

音量（＜／＞）ボタン

音量を調整します。
メニュー表示中はカーソルを左右に動かします。

電源ボタン

電源を入／切します。

背面

端子カバーの取り外しかたは15ページを、取り付けかたは25ページを参照してください。

入力
アンテナ
出力
ビデオ1 入力
ビデオ3 入力
S2映像
映像
左
音声
右
D4映像
ビデオ2 入力
ビデオ出力

アンテナ入力端子
(☞16ページ)

アンテナ出力端子
(☞17ページ)

通風孔
機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

盗難防止ホール（K）
盗難防止ロック(市販)を接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。
盗難防止ホールは、Kensington社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

ビデオ入力端子
(☞18ページ)

ビデオ出力端子
(☞85ページ)

拡張端子
生産工程用です。

拡張
デジタル
アナログ
音声
PC入力
AC入力

電源端子
(☞24ページ)

PCデジタルRGB入力端子（DVI-D24ピン）
(☞22ページ)

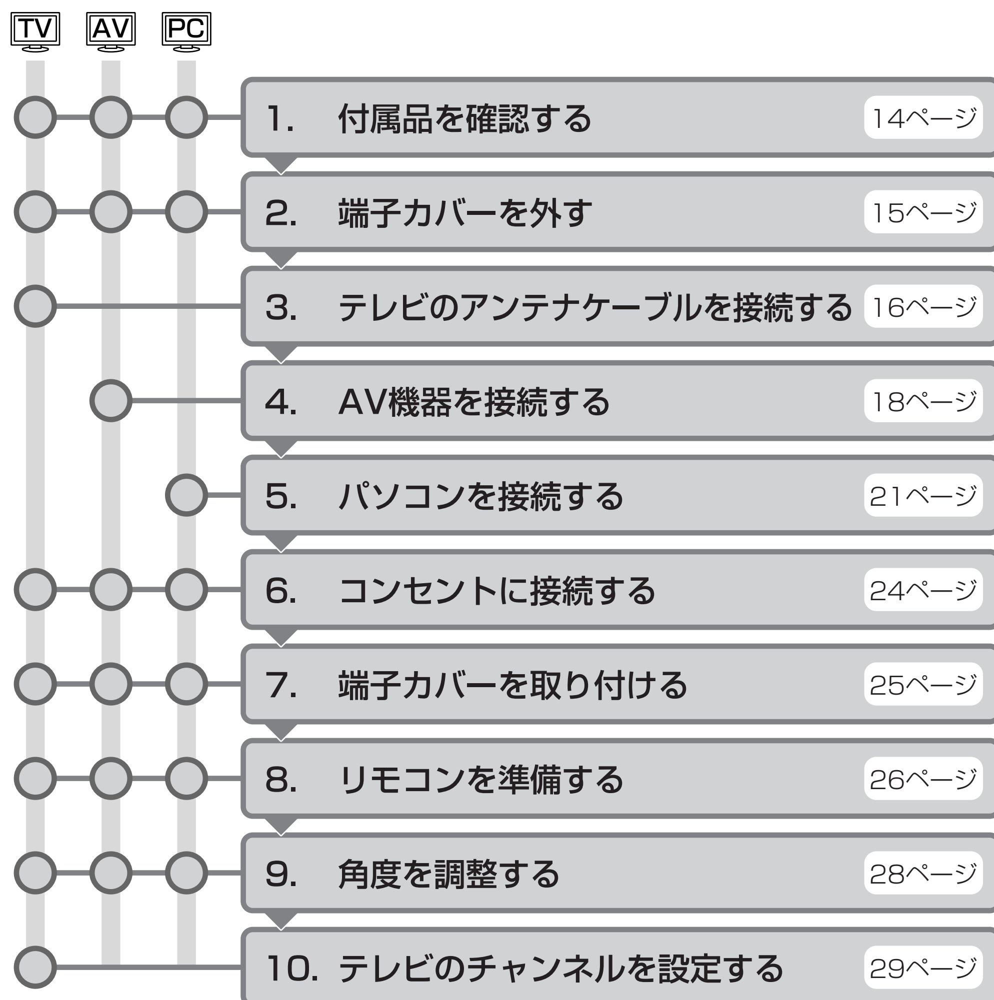
PCアナログRGB入力端子（ミニD-sub15ピン）
(☞21ページ)

PC音声入力端子
(☞23ページ)

準備の流れ

次の手順に従って、準備をしてください。

TV ...テレビとして使うときに必要です。
AV ...AV機器（ビデオデッキやDVDプレーヤーなど）を接続して見るときに必要です。
PC ...パソコンの画面を映すときに必要です。



設置場所について

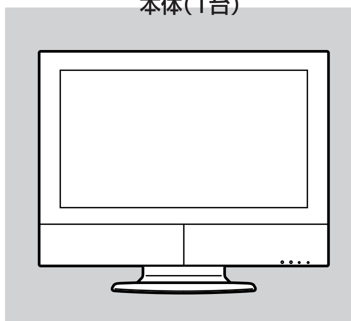
本機は、テレビを見るだけでなくパソコンのモニターとしても使えます。設置するときは、次のことを確認して設置してください。

- 壁のアンテナ端子までの距離
- 本機と、本機に接続する機器に必要なコンセントの数
- 本機とパソコン、パソコンとパソコンの周辺機器までの距離
- パソコンでインターネットに接続するときの回線までの距離

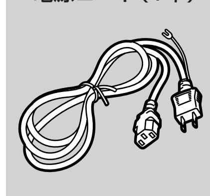
1.付属品を確認する

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

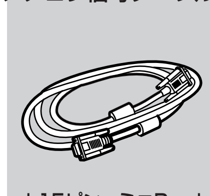
本体(1台)



電源コード(1本)

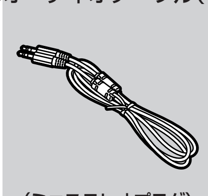


PCアナログ信号ケーブル(1本)



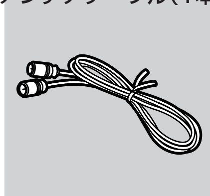
(ミニD-sub15ピン－ミニD-sub15ピン)

PCオーディオケーブル(1本)

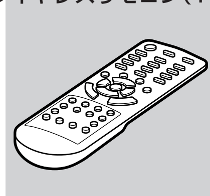


(ミニステレオプラグ)

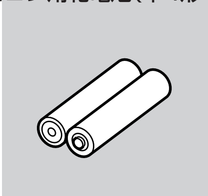
アンテナケーブル(1本)



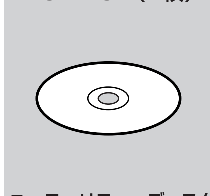
ワイヤレスリモコン(1個)



リモコン用乾電池(単4形・2本)

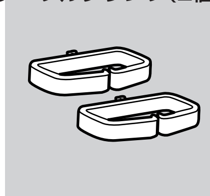


CD-ROM(1枚)



ユーティリティーディスク
(Windows/Macintosh用)

ケーブルクランプ(2個)



- 取扱説明書(1部)
- 保証書(1部)

※ 付属品の形状は記載の内容と多少異なることがあります。
※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

■ パソコンとデジタル接続するときは

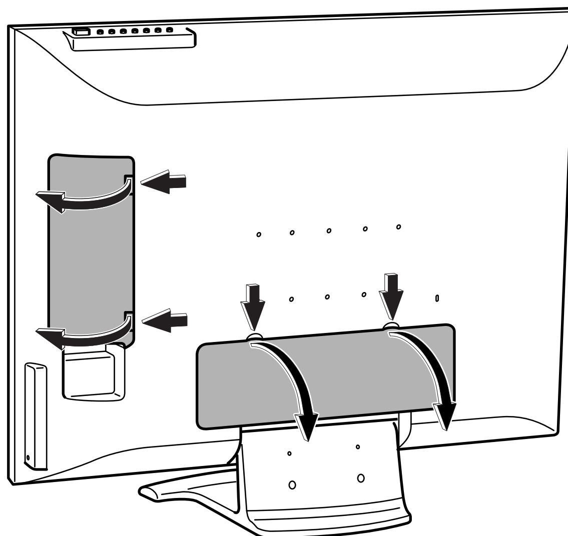
デジタル信号ケーブル(別売)が必要です。

品　名	形　名	希望小売価格
ディスプレイ(デジタル信号)ケーブル　DVI-D ── DVI-D	NL-C04J	3,990円(税抜価格3,800円)

※当社製品販売店にて品名､形名を指定のうえ､お買い求めください。
※希望小売価格は2005年4月現在のものです。
※希望小売価格は予告なく変更することがあります。

2.端子カバーを外す

端子はカバーの中にあります。
端子カバーを外してください。



3.テレビのアンテナケーブルを接続する

ご注意


- 接続するときは、本機の電源を切った状態で接続してください。

アンテナケーブル（付属）を使って、本機のアンテナ入力端子と壁のアンテナ端子を接続します。壁のアンテナ端子の形状によっては、市販品が必要になる場合があります。

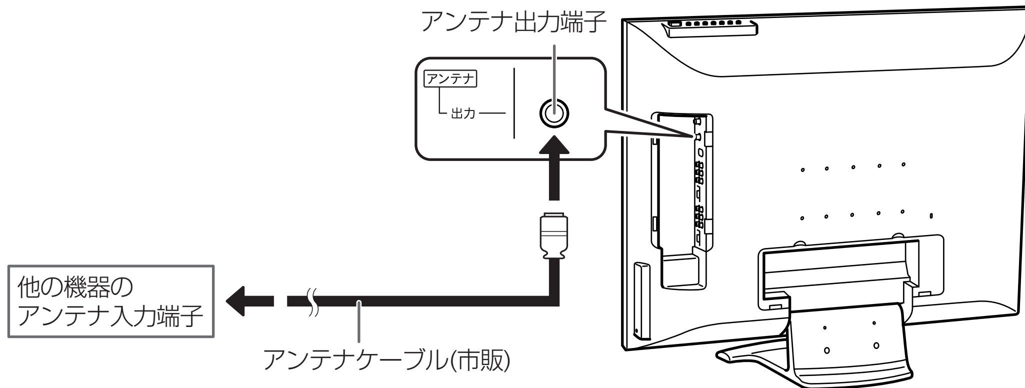
UHFアンテナ
VHFアンテナ
壁のアンテナ端子
VHF/UHF
またはVHF
またはUHF
VHFまたはUHF
VHFとUHF
VHF/UHF
またはVHF
またはUHF
平行
フィーダー線
（市販）
平行
フィーダー線
（市販）
同軸ケーブル
（市販）
アンテナ整合器
（市販）
U/V混合器
（市販）
アンテナ
ケーブル
（付属）
入力
アンテナ
アンテナ
入力端子

Memo

- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買いあげの販売店にご相談ください。
- CATVにご加入の場合は、アンテナ端子に接続する代わりに、ホームターミナルなどへの接続が必要になる場合があります。

他の機器のアンテナ入力端子へアンテナケーブルを接続するときは

アンテナケーブル（市販）を使って接続してください。
接続する機器のアンテナ入力端子の形状によって、必要なアンテナケーブルは異なります。



接続先の機器で受信状況が悪い場合

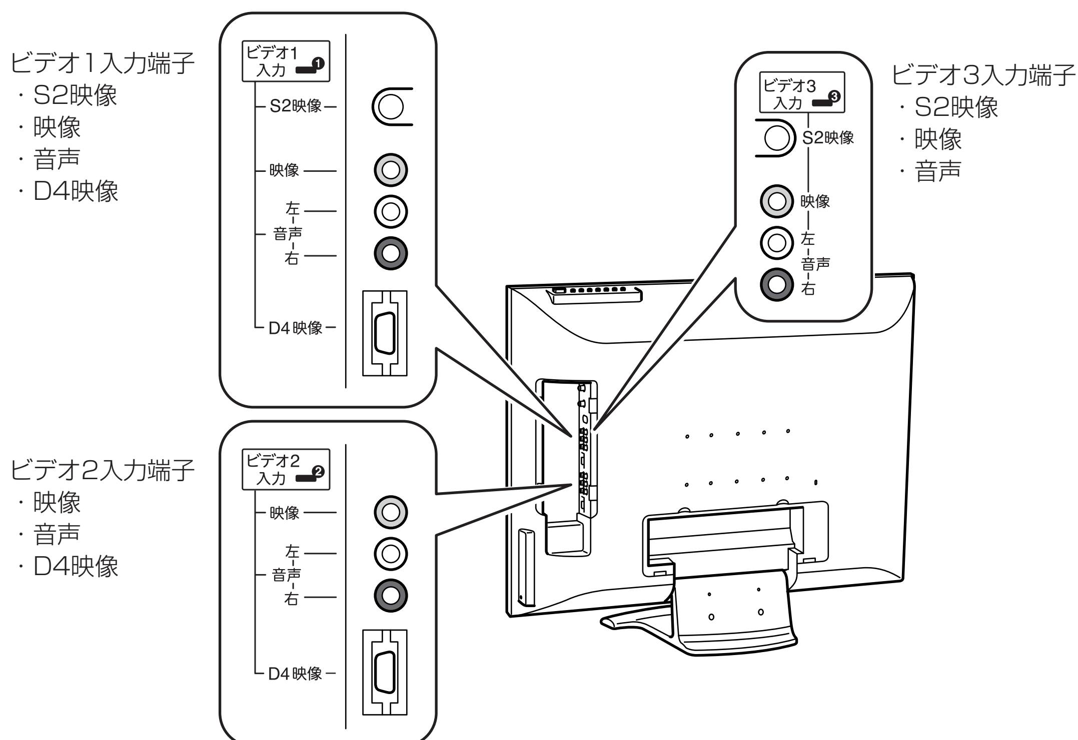
- ブースターなどの増幅器（市販）をお使いください。

4. AV機器を接続する

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのAV機器やゲーム機などを3台まで同時に接続できます。
接続する機器の説明書も併せてお読みください。

ご注意

● 接続するときは、接続する機器の電源をすべて切った状態で接続してください。

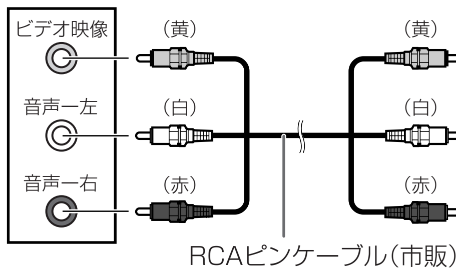


		入力端子		
		ビデオ1 入力	ビデオ2 入力	ビデオ3 入力
接続する機器	ビデオ映像出力端子のあるAV機器	○	○	○
	S映像出力端子のあるAV機器	○	—	○
	D映像出力端子のあるAV機器	○	○	—

ビデオ映像出力端子のあるAV機器 ビデオ1入力 ビデオ2入力 ビデオ3入力

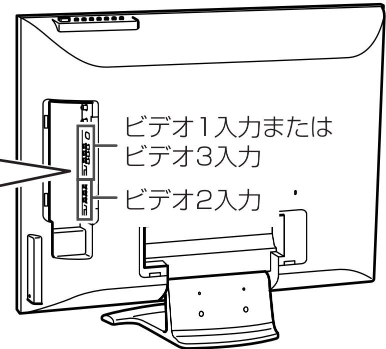
ビデオ1～3入力の映像入力端子･音声(左･右)入力端子に接続します。

接続先機器の出力端子



本機の右側面

ビデオ1入力
S2映像
映像
左
音声
右



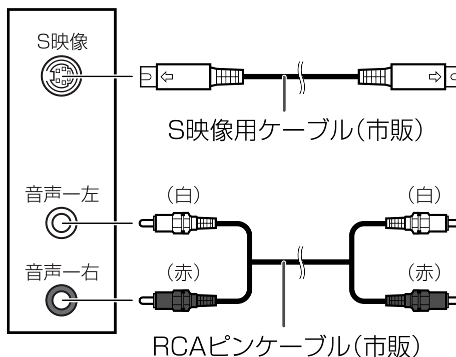
映像入力端子を使うときは

- S2映像入力端子やD4映像入力端子にケーブルを接続しないでください。

S映像出力端子のあるAV機器 ビデオ1入力 ビデオ3入力

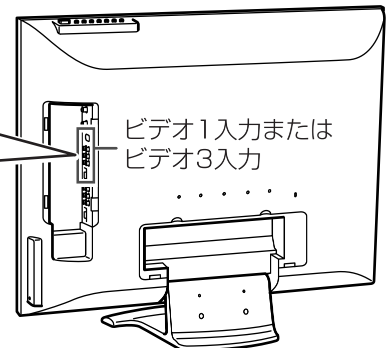
ビデオ1入力、またはビデオ3入力のS2映像入力端子･音声(左･右)入力端子に接続します。
本機のS2映像入力端子は、S1またはS2の映像の入力に対応しています。

接続先機器の出力端子



本機の右側面

ビデオ1入力
S2映像
映像
左
音声
右

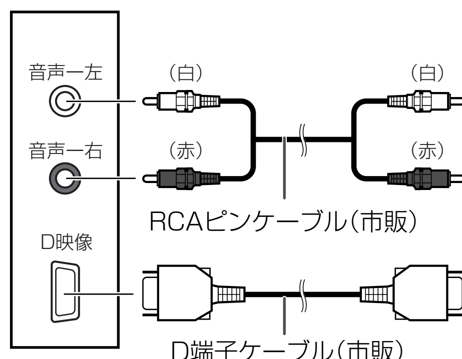


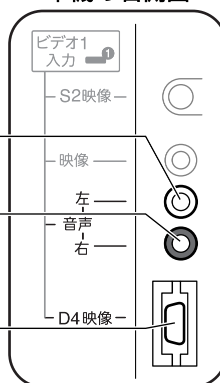
S2映像入力端子を使うときは

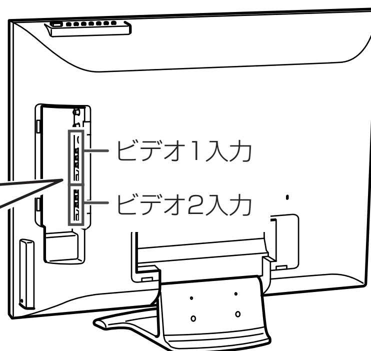
- 映像入力端子やD4映像入力端子にケーブルを接続しないでください。

D映像出力端子のあるAV機器 ビデオ1入力 ビデオ2入力

ビデオ1入力、またはビデオ2入力のD4映像入力端子・音声（左・右）入力端子に接続します。
本機のD4映像入力端子は、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）、D4（750p）の映像の入力に対応しています。
D端子ケーブルは、接続する機器のコネクターの形状を確認してから、お買い求めください。







D4映像入力端子を使うときは

- 映像入力端子やS2映像入力端子にケーブルを接続しないでください。

5.パソコンを接続する

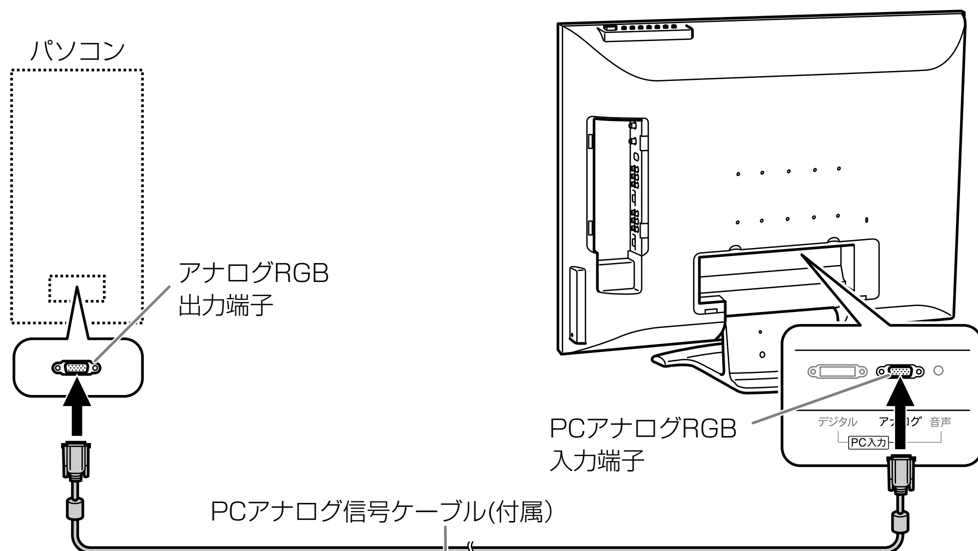


ご注意
- 接続するときは、接続する機器の電源をすべて切った状態で接続してください。
- ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。
  断線などの故障の原因になります。

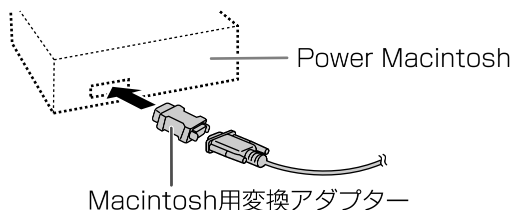
Memo
- 接続先のパソコンにセットアップ情報･ICCプロファイル（Windows）やColorSyncプロファイル（MacOS）をインストールする場合は、CD-ROM（付属）のReadmeJをご覧ください。

アナログ接続する

PCアナログ信号ケーブル（付属）を使って、パソコンのアナログRGB出力端子と接続します。
コネクターの向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

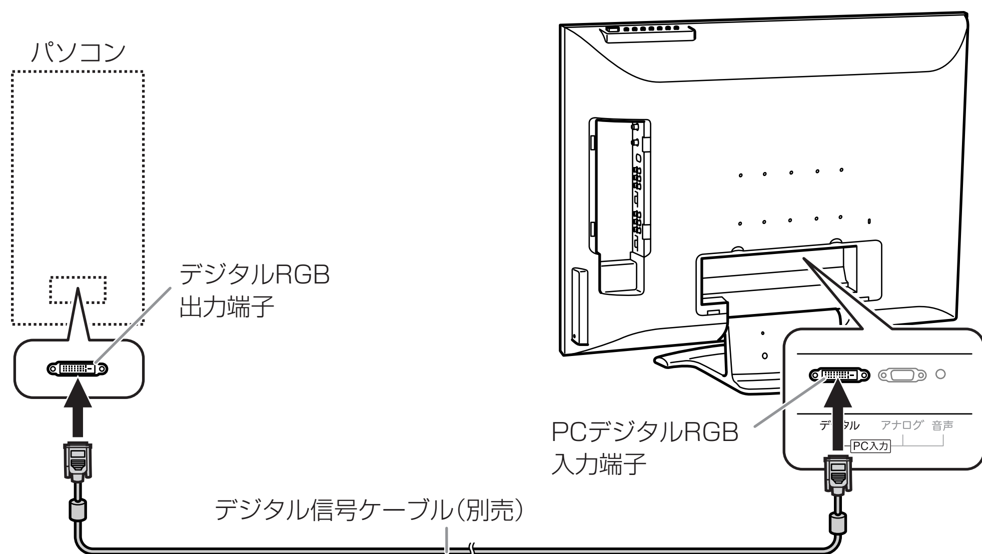


Power MacintoshのアナログRGB出力端子がD-sub15ピン2列の場合
- Macintosh用変換アダプター（市販）を取り付けます。



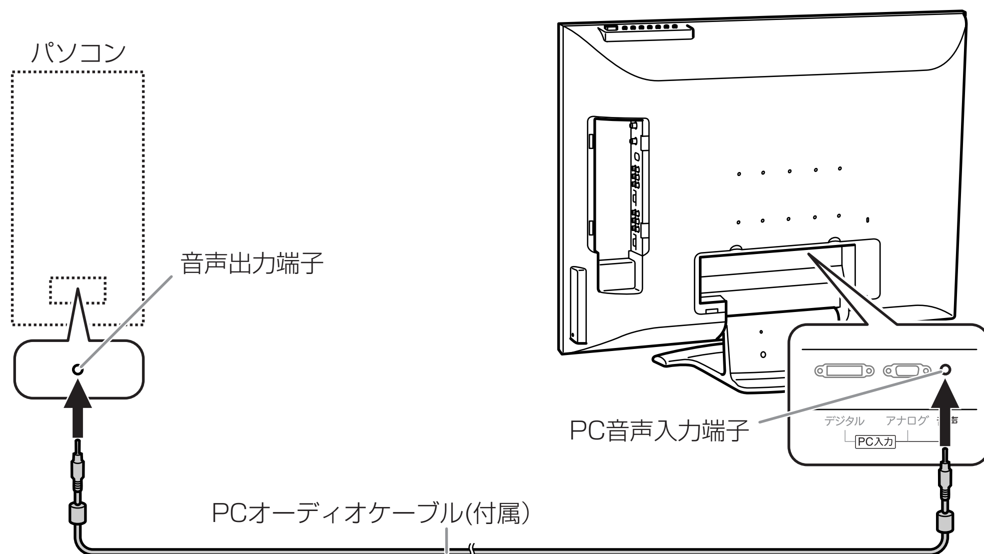
デジタル接続する

別売のデジタル信号ケーブル(形名:NL-C04J)を使って、DVI準拠の出力端子(DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン)を持つパソコンと接続することができます。(ただし、接続するパソコンによっては正しく表示されないことがあります。)
コネクターの向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。



本機のスピーカーからパソコンの音声を出力するとき

PCオーディオケーブル(付属)を使って、パソコンの音声出力端子と接続します。



6.コンセントに接続する

ご注意

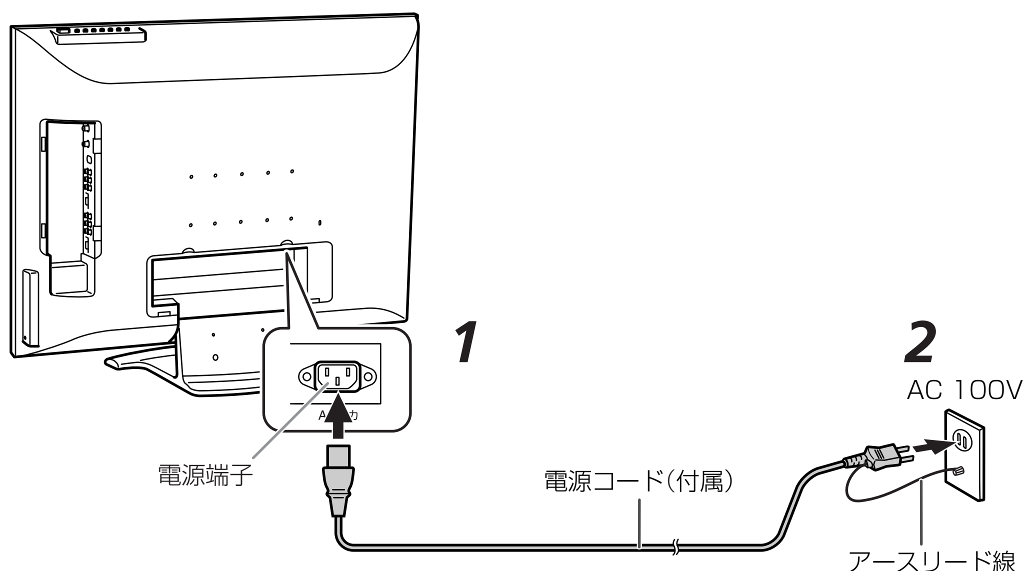

● 接続するときは、本機の電源を切った状態で接続してください。
● 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。
● ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。
断線などの故障の原因になります。


注意

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください
指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

1 電源コード(付属)を電源端子に接続する。

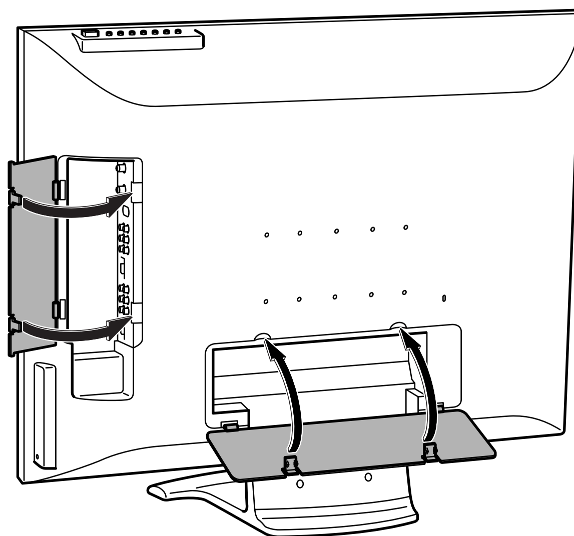
2 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込む。




注意

アースを接続してください
アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。
● アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
● アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。またアースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

7.端子カバーを取り付ける

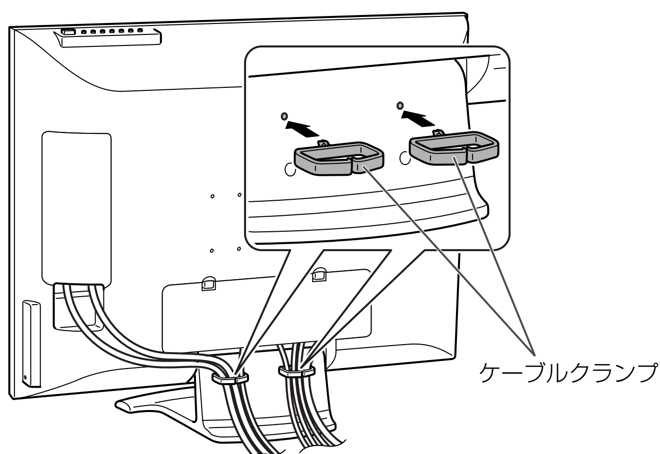



ご注意

● 端子カバーを取り付けるときは、ケーブルをはさまないようにしてください。

ケーブルをまとめるときは

ケーブルクランプ(付属)を取り付けて、ケーブルを通すことができます。



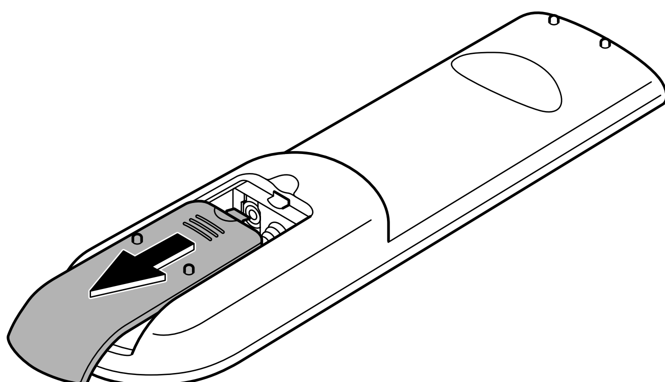
ディスプレイ部の角度を調整するときにケーブルが引っ張られないようにするため、少し余裕を持たせてください。

8.リモコンを準備する

乾電池を入れる

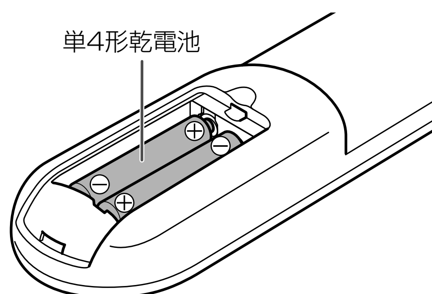
1 カバーを開ける。

≡ の部分を軽く押さえながらスライドさせます。

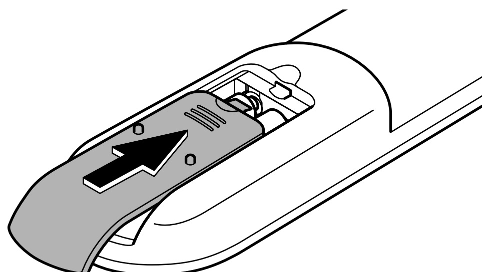


2 付属の乾電池(単4形・2本)を入れる。

⊕、⊖ の向きを確かめて、正しく入れてください。

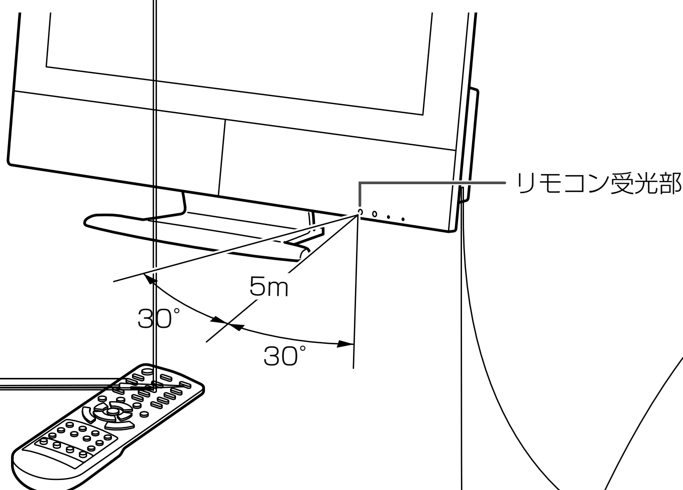


3 カバーを閉める。



リモコンの取り扱いについて

リモコンは、リモコン受光部に向けて操作してください。操作できる範囲はリモコン受光部から約5m、上下左右に約30°以内です。



- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- リモコンを水にぬらしたり、湿度の高いところに置かないでください。

次の場合は、リモコンが動作しにくくなることがあります

- リモコン受光部に直射日光や強い照明があたっている場合
  照明または本機の向きを変えてください。
- 蛍光灯などが近くにある場合
  蛍光灯や本機の向きを変えたり、蛍光灯から離して操作してください。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用した場合
  他の機器のリモコンの操作を中断してください。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物がある場合
  障害物を移動してください。

電池交換のめやす

- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい乾電池(単4形)に交換してください。
  ※付属の乾電池は、保存状態により短時間で消耗することがあります。
- 電池は、マンガン乾電池、またはアルカリ乾電池を使用してください。充電池(ニカド電池)は使用しないでください。

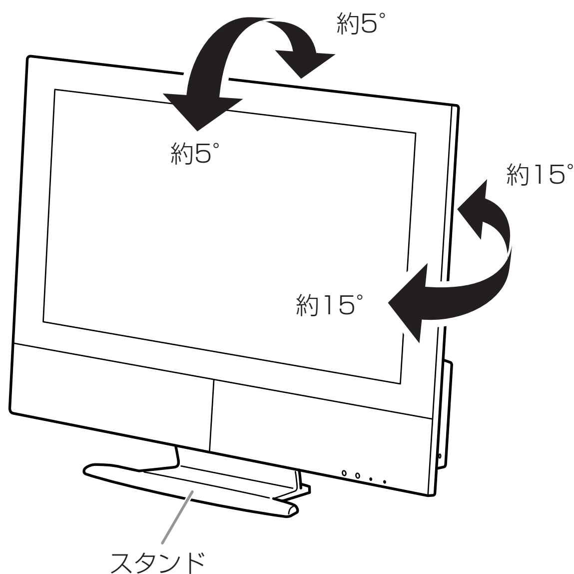
9.角度を調整する


ご注意

- 角度を調整するときは、必ず枠の部分を持ってください。
  液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。


注意

指などをはさまないようにご注意ください




注意

スタンドの周辺に指やものなどを置かないでください

左右に角度を変えるときスタンドが動くため、スタンドがものに当たったり、指づめ等けがの原因になります。

10.テレビのチャンネルを設定する

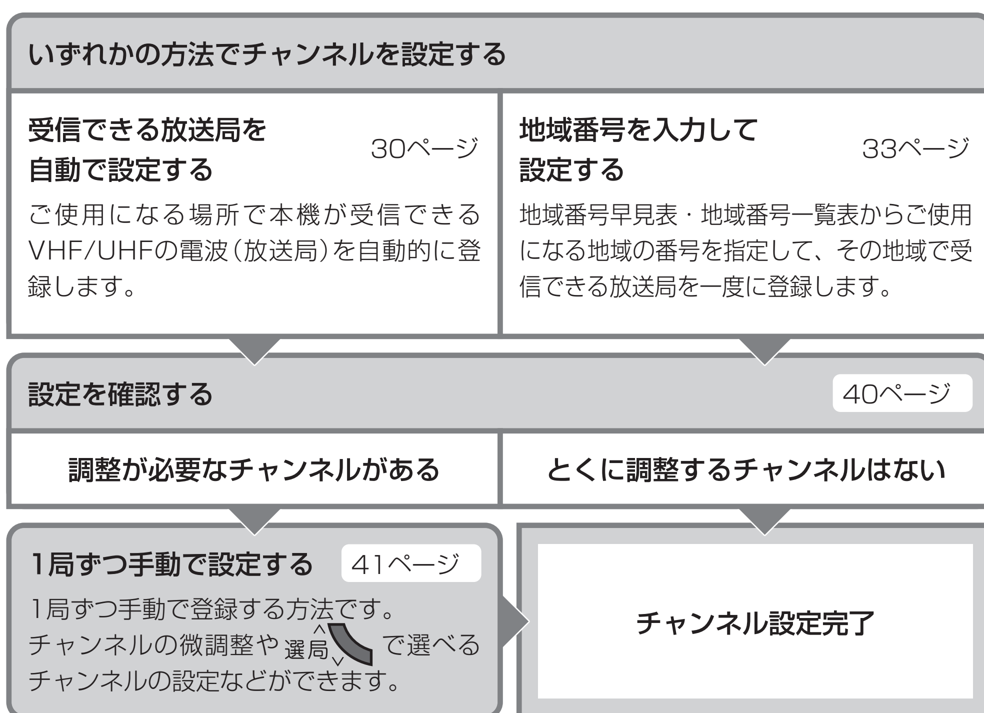
本機で受信できる放送／チャンネル

VHF	1～12チャンネル
UHF	13～62チャンネル
有線テレビ放送(CATV)	C13～C63チャンネル

※CATVを受信するには、CATVサービス会社への加入手続きが必要です。

工場出荷時は、VHF1～12チャンネルがリモコン番号1～12チャンネルで映るように設定されています。他のチャンネルが映るようにするには、チャンネル設定が必要です。

■ チャンネル設定のしかた



CATVのチャンネル設定について

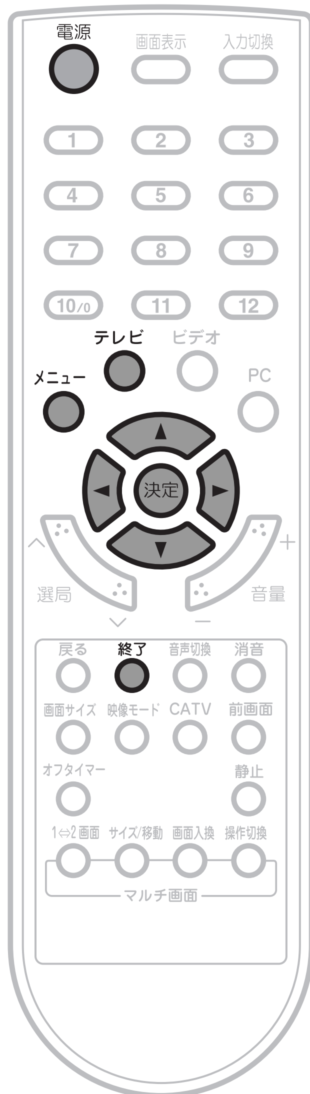
- 「受信できる放送局を自動で設定する」(☞30ページ)でVHF/UHFのチャンネルを登録したあと、「1局ずつ手動で設定する」(☞41ページ)でCATVのC13～C63チャンネルを登録してください。
- CATVのC13～C63チャンネルは、スキップに設定されています。CATVチャンネルを 選局 ボタンで選局できるようにするには、「1局ずつ手動で設定する」(☞41ページ)のチャンネルスキップを「しない」にしてください。

1～12チャンネルを工場出荷時の状態に戻すには

- 「地域番号を入力して設定する」(☞33ページ)で地域番号を「0」に設定してください。

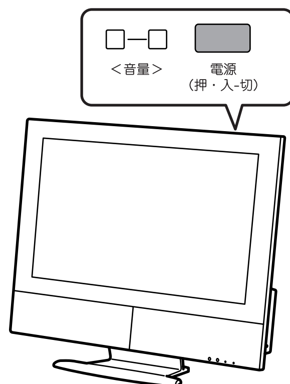
受信できる放送局を自動で設定する

ご使用になる場所で受信できるVHF/UHFの電波(放送局)を自動的に登録します。最大12局登録できます。
この設定を行うと、以前の内容はすべて消え、新しい登録内容に置き換わります。



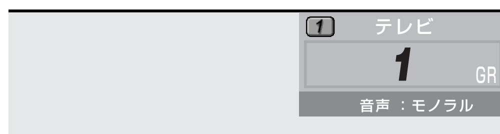
1 本体の[電源]を押して電源を入れる。

電源ランプが赤色に点灯しているときは、電源 を押します。



2 テレビ を押す。

画面右上に数字(チャンネル)が表示されます。



3 メニュー ● を押す。

メニューが表示されます。



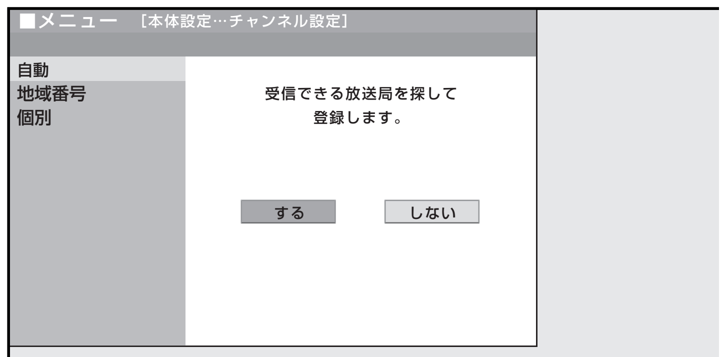
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

4 ◁ ▷ で「本体設定」を選び、△▽ で「チャンネル設定」を選ぶ。



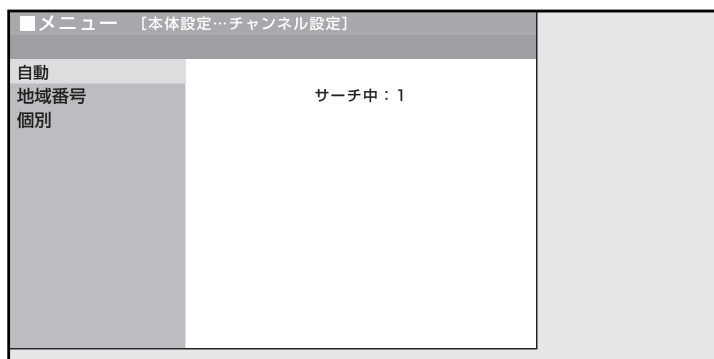
5 決定 を押す。

6 △▽ で「自動」を選び、決定 を押す。

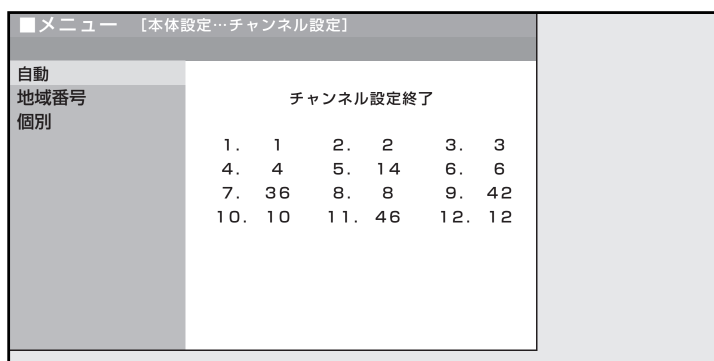


7 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す。

「サーチ中」と表示され、受信できる放送局の登録が始まります。



登録が終わるまでお待ちください。登録を中断することはできません。
登録が終わると、設定されたチャンネルが約10秒間表示されます。



8 メニュー または 終了 を押す。

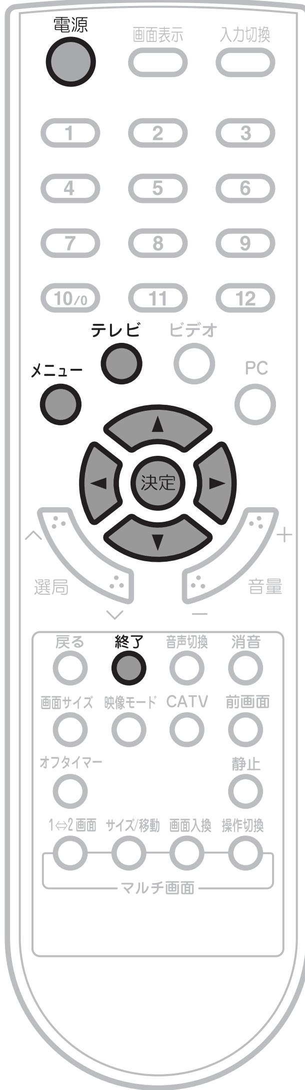
メニューが消えます。
これで、自動設定は完了です。40ページに進んで正しく受信できるか確認してください。

受信可能なチャンネルがなかった場合は

- 設定は変更されません。（以前の内容が残ります。）

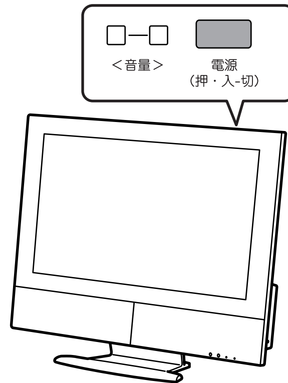
地域番号を入力して設定する

ご使用になる地域の地域番号を指定して、あらかじめ地域ごとに登録されている放送局を一度に登録します。地域番号早見表・地域番号一覧表(☞36〜39ページ)で、ご使用になる地域の地域番号を確認してください。この設定を行うと、以前の内容はすべて消え、新しい登録内容に置き換わります。



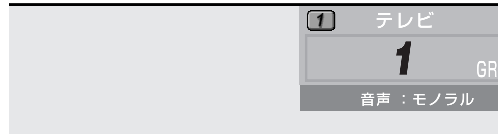
1 本体の[電源]を押して電源を入れる。

電源ランプが赤色に点灯しているときは、電源 を押します。



2 テレビ を押す。

画面右上に数字(チャンネル)が表示されます。



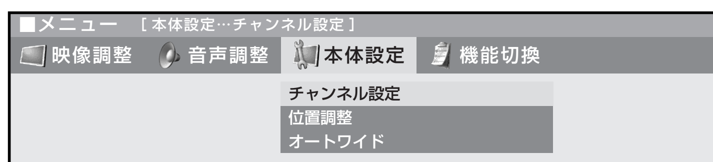
3 メニュー ● を押す。

メニューが表示されます。



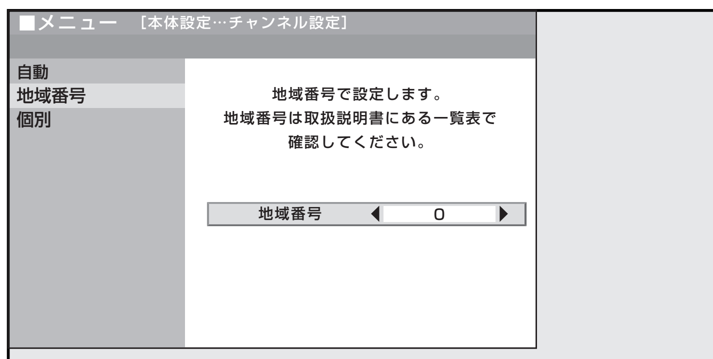
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

4 ◁ ▷ で「本体設定」を選び、△ ▽ で「チャンネル設定」を選ぶ。



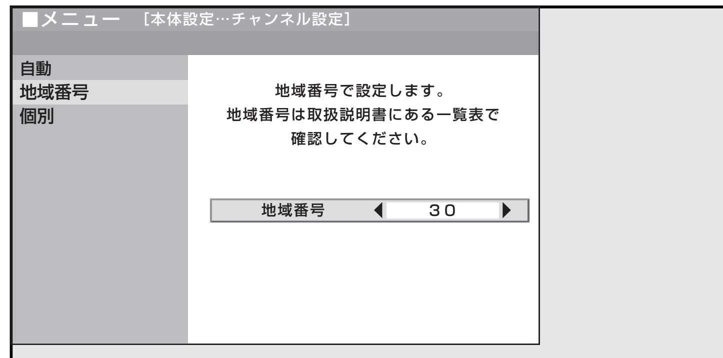
5 決定 を押す。

6 △ ▽ で「地域番号」を選び、決定 を押す。

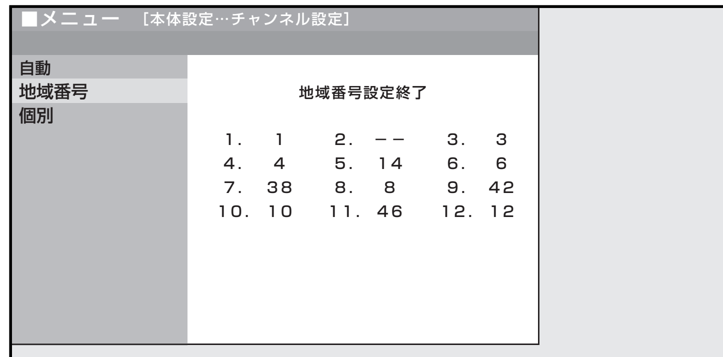


7 ◁ ▷ で地域番号を表示させ、決定 を押す。

地域番号は、地域番号早見表･地域番号一覧表(☞36〜39ページ)で確認してください。



設定されたチャンネルが約10秒間表示されます。



8 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

これで、地域番号設定は完了です。40ページに進んで正しく受信できるか確認してください。

■ 地域番号早見表

あ	会津若松市	21
	青森市	10
	明石市	63
	昭島市	30
	秋田市	15
	阿久根市	95
	上尾市	27
	朝霞市	27
	旭川市	2
	足利市	27
	厚木市	33
	網走市	1
	我孫子市	29
	尼崎市	61
	安城市	54
い	飯田市	45
	池田市	61
	生駒市	61
	石巻市	14
	和泉市	61
	伊勢崎市	25
	伊丹市	61
	市川市	29
	一宮市	54
	市原市	29
	茨木市	61
	今治市	81
	入間市	27
	いわき市	20
	岩国市	77
	岩槻市	27
う	宇治市	60
	宇都宮市	101
	宇部市	76
	浦安市	29
え	海老名市	33
	江別市	1
お	青梅市	30
	大分市	91
	大垣市	47
	大阪市	61
	大館市	16
	大津市	58

お	大牟田市	86
	岡崎市	54
	岡山市	70
	沖縄市	96
	小樽市	7
	小田原市	35
	帯広市	5
	小山市	27
か	各務原市	106
	加古川市	63
	鹿児島市	94
	橿原市	65
	柏市	29
	春日井市	54
	春日部市	27
	門真市	61
	金沢市	41
	鎌倉市	33
	刈谷市	54
	川口市	27
	川越市	27
	川崎市	33
	河内長野市	61
	川西市	64
き	木更津市	29
	岸和田市	61
	北九州市	84
	北見市	9
	岐阜市	47
	京都市1	60
	京都市2	98
	桐生市	102
く	釧路市	4
	熊谷市	103
	熊本市	90
	倉敷市	70
	久留米市	85
	呉市	73
こ	高知市	82
	甲府市	43
	神戸市	61
	郡山市	19
	小金井市	30

こ	越谷市	27
	小平市	30
	小牧市	54
	小松市	41
さ	さいたま市	27
	堺市	61
	佐賀市	87
	酒田市	18
	相模原市	33
	佐倉市	29
	佐世保市	89
	札幌市	1
	座間市	33
	狭山市	27
し	静岡市	49
	下関市	75
	周南市	74
	上越市	38
す	吹田市	61
	鈴鹿市	57
せ	瀬戸市	54
	仙台市	13
そ	草加市	27
た	大東市	61
	高岡市	40
	高崎市	25
	高槻市	61
	高松市	78
	宝塚市	61
	立川市	30
	多摩市	105
ち	茅ヶ崎市	34
	千葉市	29
	調布市	30
つ	津市	57
	つくば市	29
	土浦市	29
	鶴岡市	18
と	東京23区	30
	徳島市	97
	所沢市	27
	鳥取市	67
	苫小牧市	6

と	富山市	39
	豊川市	55
	豊田市	56
	豊中市	61
	豊橋市	55
	富田林市	61
な	長岡市	37
	長崎市	88
	長野市	44
	流山市	29
	名古屋市	54
	那覇市	96
	奈良市	65
	習志野市	29
に	新潟市	37
	新座市	27
	新居浜市	80
	西宮市	61
ぬ	沼津市	52
ね	寝屋川市	61
の	野田市	29
	延岡市	93
は	函館市	3
	秦野市	36
	八王子市	104
	八戸市	11
	羽曳野市	61
	浜田市	69
	浜松市	50
	半田市	54
ひ	東大阪市	61
	東久留米市	30
	東村山市	30
	彦根市	59
	日立市	23
	ひたちなか市	22
	日野市	30
	姫路市	62
	枚方市	61
	平塚市	34
	弘前市	10
	広島市	71
ふ	福井市	42

ふ	福岡市	83
	福島市	19
	福山市	72
	藤枝市	53
	藤沢市	33
	富士市	51
	富士宮市	51
	府中市(東京)	30
	船橋市	29
へ	別府市	91
ほ	防府市	74
ま	前橋市	25
	町田市	33
	松江市	68
	松阪市	57
	松戸市	29
	松原市	61
	松本市	46
	松山市	79
み	三郷市	27
	三島市	52
	三鷹市	30
	水戸市	22
	都城市	92
	宮崎市	92
む	武蔵野市	30
	室蘭市	8
も	盛岡市	12
	守口市	61
や	矢板市	100
	焼津市	49
	八尾市	61
	八千代市	29
	八代市	90
	山形市	17
	山口市	74
	大和市	33
よ	横須賀市	33
	横浜市	33
	四日市市	57
	米子市	68
わ	和歌山市1	107
	和歌山市2	99

■ 地域番号一覧表

地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。(2004年10月現在)

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
工場出荷設定		0	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5	6 6	7 7	8 8	9 9	10 10	11 11	12 12
北海道	札幌	1	1 北海道放送	2	3 NHK総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 NHK教育
	旭川	2	1	2 NHK教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	函館	3	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 NHK教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	4	1	2 NHK教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	5	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 NHK教育
	苫小牧	6	47 テレビ北海道	49 NHK教育	51 NHK総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	7	24 テレビ北海道	2 NHK教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 NHK総合	12
	室蘭	8	1	2 NHK教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	北見	9	1	2 NHK教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	10	1 青森放送テレビ	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	11	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 NHK教育	8	9 NHK総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	12	1	2	3	4 NHK総合	5	6 IBCテレビ	7	8 NHK教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1 東北放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	14	59 東北放送	2	51 NHK総合	4	49 NHK教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	15	1	2 NHK教育	3	4	5	6	7	8	9 NHK総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	16	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 NHK教育	9 NHK総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ
山形	山形	17	1	2	3	4 NHK教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 NHK総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	18	1 山形放送	2	3 NHK総合	4	5	6 NHK教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2 NHK教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 NHK総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	20	1	62 テレビユー福島	3	4 NHK総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 NHK教育	11	60 福島放送
	会津若松	21	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	22	44 NHK総合	2	46 NHK教育	42 日本テレビ	5	40 TBSテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	23	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	矢板	100	40 NHK総合	2	30 NHK教育	36 日本テレビ	33 とちぎテレビ	42 TBSテレビ	7	45 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	宇都宮	101	51 NHK総合	2	49 NHK教育	53 日本テレビ	5	55 TBSテレビ	7	57 フジテレビ	31 とちぎテレビ	41 テレビ朝日	11	44 テレビ東京
群馬	前橋	25	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	102	51 NHK総合	2	57 NHK教育	53 日本テレビ	40 放送大学	55 TBSテレビ	7	35 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	41 群馬テレビ	61 テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	103	51 NHK総合	2	35 NHK教育	53 日本テレビ	5	55 TBSテレビ	16 放送大学	57 フジテレビ	30 テレビ埼玉	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
千葉	千葉	29	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23区	30	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	14 東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ	6 TBSテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	40 東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ	37 TBSテレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK総合	2	47 NHK教育	51 日本テレビ	61 東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	33	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	34	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	5	37 TBSテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	35	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	36	47 NHK総合	2	49 NHK教育	51 日本テレビ	5	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	37	21 新潟テレビ21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK教育
	上越	38	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ

10.テレビのチャンネルを設定する

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		(リモコン番号 / 受信チャンネル 放送局名)	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
富山	富山	39	1 北日本テレビ	2	3 NHK総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	40	50 北日本テレビ	2	48 NHK総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4 NHK総合	5	6 MROテレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	42	39 福井テレビ	2	3 NHK教育	4	5	6 MROテレビ	7	8	9 NHK総合	10	11 FBCテレビ	12
山梨	甲府	43	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	44	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	48 信越放送	12
	飯田	45	44 長野朝日放送	2	3 NHK教育	4 NHK総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	46	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	47	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 メ～テレ	37 岐阜放送
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 メ～テレ	41 岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2 NHK教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	50	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	51	1	54 NHK教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	52	1	51 NHK教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 NHK教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 メ～テレ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 メ～テレ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	59	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育
京都	京都1	60	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	98	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	62	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	63	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	64	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	65	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	107	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK教育
	和歌山2	99	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	69	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 NHK総合	2	24 広島ホームテレビ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 NHK教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	74	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TVQ九州放送	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	76	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	77	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
徳島	徳島	97	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	78	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	80	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	81	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	82	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TVQ九州放送	37 福岡放送
	北九州	84	1	2 九州朝日放送	23 TVQ九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	85	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ九州放送	52 福岡放送
	大牟田	86	58 九州朝日放送	19 TVQ九州放送	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	87	19 TVQ九州放送	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	88	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	89	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	91	1 NHK教育	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 NHK総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	93	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	94	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
	阿久根	95	1	30 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	96	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育

その他の地域番号

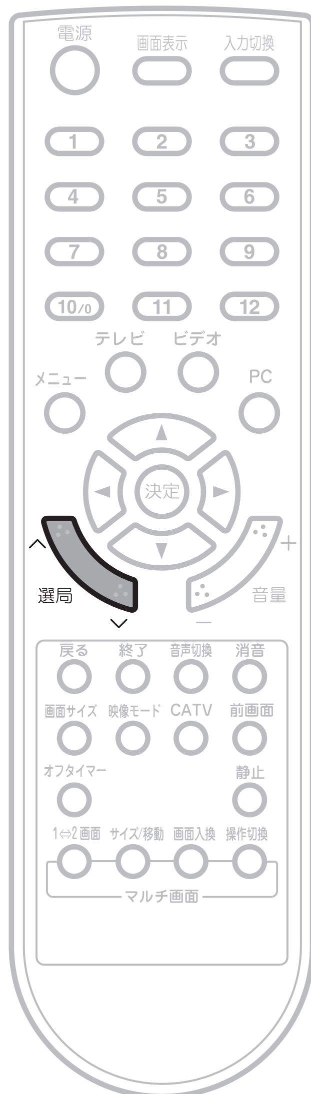
現在は使用されていない地域番号です。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
24	29	2	27	25	5	23	7	21	31	19	11	17
26	43	2	45	39	40	37	7	35	9	33	41	31
28	33	2	35	25	5	23	16	21	28	19	11	17
31	51	2	49	53	47	55	7	57	9	59	11	61
32	30	2	32	26	28	24	7	22	9	20	11	18
48	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	28
66	1	32	3	42	5	44	7	46	9	48	30	26

接続と準備

設定を確認する

設定したチャンネルが正しく受信できるか、1局ずつ確認します。



1 選局 を押して、次の□を確認しながらすべてのチャンネルを表示する。

下記にあてはまる項目がなければ、本機の準備は完了です。
ある場合は、「1局ずつ手動で設定する」(☞41ページ)で、各チャンネルを設定してください。

□**映らないチャンネルがある**
「受信チャンネル」や「受信微調整」を調整してください。

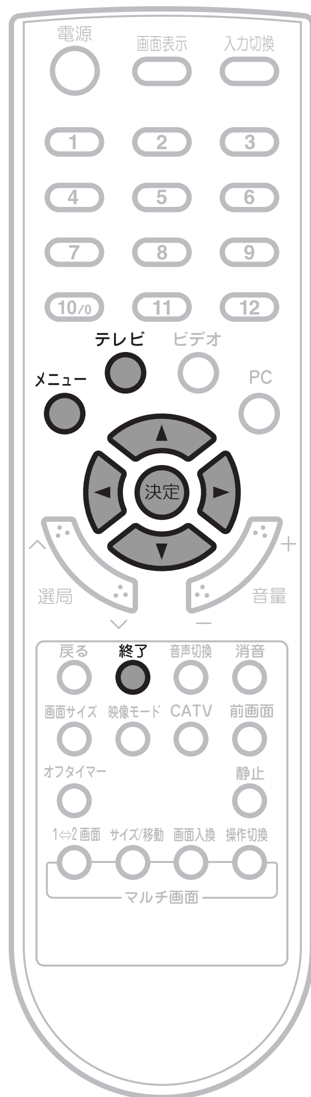
□**映像が二重になって表示される**
「GR設定」を「入」にすると軽減される場合があります。

□**映像が鮮明に表示されない**
表示される映像を見ながら「受信微調整」を調整してください。

□**他に表示したいチャンネルがある**
「リモコン番号」や「受信チャンネル」などの設定をしてください。

1局ずつ手動で設定する(チャンネル個別設定)

チャンネルを1局ずつ設定します。また、選局 を使うとき、放送のないチャンネルをとび越して選局するように設定することもできます(スキップ)。



1 テレビ を押す。

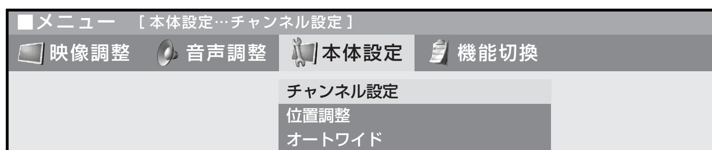
2 メニュー を押す。

メニューが表示されます。



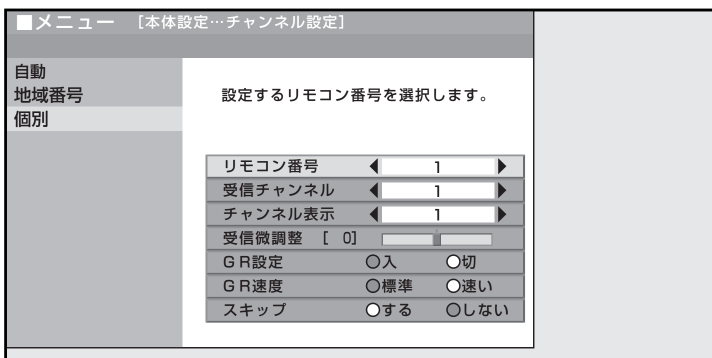
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

3 ◀ ▶ で「本体設定」を選び、▲ ▼ で「チャンネル設定」を選ぶ。



4 決定 を押す。

5 ▲ ▼ で「個別」を選び、決定 を押す。



6 各項目を設定する。

① ▲▼ で設定する項目を選ぶ。
② ◀ ▶ で調整する。

リモコン番号
本機のチャンネル番号を設定します。1～12、C13～C63(CATV)から選びます。
以下の項目は、ここで選んだ番号に対する設定になります。

受信チャンネル
放送局の周波数を設定します。1～62、C13～C63(CATV)から選びます。
リモコン番号がC13～C63のとき、受信チャンネルの設定はできません。

チャンネル表示
リモコン番号1～12のチャンネルを選んだとき、画面に表示されるチャンネル番号を設定します。
リモコン番号がC13～C63のとき、チャンネル表示の設定はできません。

受信微調整
地域によっては、調整をずらしたほうが見やすくなる場合があります。背景のテレビ映像を見ながら調整してください。

GR設定
「入」にすると、GR(ゴーストリダクション)機能(☞43ページ)を有効にして、ゴーストによる映像の乱れを軽減させることができます。「入」の場合、画面表示中に「GR」と表示されます。

GR速度
「速い」に設定すると、GR効果が素早く得られますが、確実な効果が得られない場合があります。
「標準」に設定すると、GR効果はゆっくりですが、より確実な効果が得られます。

スキップ
「する」に設定すると、選局 でそのチャンネルは表示されません。
1～12 を押したときは、表示されます。

7 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。
これで設定は完了です。

設定例について

- リモコンの (5) を押すと、19チャンネルを映し、画面右上に「19」と表示させる場合
  - ・リモコン番号 :5
  - ・受信チャンネル:19
  - ・チャンネル表示:19
- リモコンの (11) を押すと、CATVのC20を映し、画面右上に「C20」と表示させる場合
  - ・リモコン番号 :11
  - ・受信チャンネル:C20
  - ・チャンネル表示:C20
- C15チャンネルを選ぶと、CATVのC15の放送を映し、選局∧∨ でも選べるようにする
  - ・リモコン番号 :C15
  - ・スキップ :しない

  ※受信チャンネルおよびチャンネル表示は設定できません。
  画面右上には、「C15」と表示されます。

ゴーストとは

- 放送局とテレビアンテナの間の障害物(高層ビル等)で電波が乱反射することにより、映像が二重になったりぼやけたりする現象です。
- 工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所･天候等さまざまな発生原因があり、完全にゴーストを消すことはできません。

GR(ゴーストリダクション)機能について

- ゴーストの内容によっては、GR機能の動作に少し時間がかかる場合があります。
- 次のような場合など、GR機能の効果が十分得られないことがあります。
  放送局からゴースト除去信号が送られていない場合
  飛行機などの反射によりゴーストが変動する場合
  ゴーストの電波が強い場合
  外部機器からの映像を見る場合
- GR機能を「入」にして見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを変えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を「入」にすると、新たにゴーストが発生する場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。

電源を入れる／切る 電源

電源を入れる

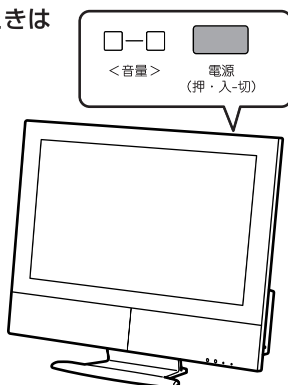
1 **電源ランプが赤色に点灯しているとき、電源 を押す。**

電源ランプが緑色に点灯し、画面の情報が数秒間表示されます。



画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。

電源ランプが消えているときは
本体の［電源］を押してください。



電源を切る

1 **電源 を押す。**

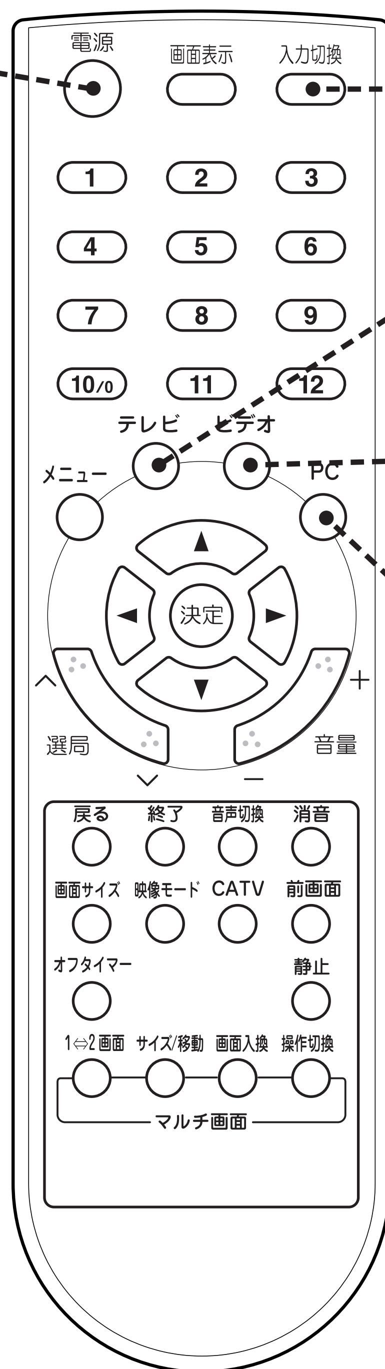
画面の表示が消え、電源ランプが赤色に変わります。（待機状態）

2 **本体の［電源］を押す。**

電源ランプが消灯します。


ご注意

- 電源の切／入は、必ず約5秒以上の間隔を空けて行ってください。
  急に電源を入れると、故障や誤動作の原因になります。

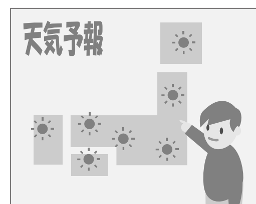


画面モードを切り換える（入力切換）

テレビ ビデオ PC

テレビを見るとき……テレビモード

1 テレビ を押す。
テレビの映像が表示されます。



外部入力の映像(ビデオ)などを見るとき……ビデオモード

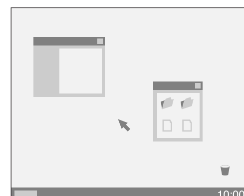
1 ビデオを押す。
ビデオモード中は、押すたびにビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ1…の順に変わります。
接続している端子に切り換えてください。



2 再生機器の電源を入れ、再生の操作をする。

パソコンのモニターとして使うとき……PCモード

1 PC を押す。
PCモード中は、押すたびに信号入力端子（アナログ／デジタル）が変わります。接続している端子に切り換えてください。



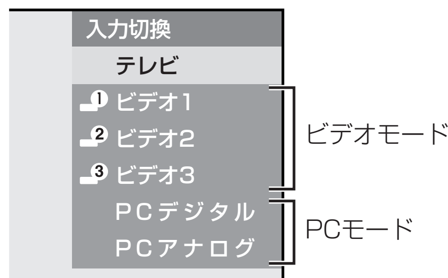
2 パソコンの電源を入れる

アナログ接続でお使いになる場合
本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整をしてください。（☞65ページ）
デジタル接続でお使いの場合は、自動調整する必要はありません。

一覧から選びたいとき

1 入力切換 を押す。

2 入力切換 または ▲▼ でモードを選ぶ。
ビデオモードは、ケーブルが接続されている端子のみ選べます。



基本の操作（選局する・音量を調節する）

チャンネルを選ぶ



1 〔1〜12〕 または 選局 を押す。

PCモードやビデオモードのときでも、自動的にテレビモードに切り換わります。

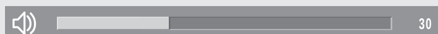
ケーブルテレビ（CATV）のチャンネルを選ぶときは

- 「ケーブルテレビ(CATV)のチャンネルを選ぶ」（☞52ページ）を参照してください。

音量を調節する



1 音量 の＋または－を押して調節する。



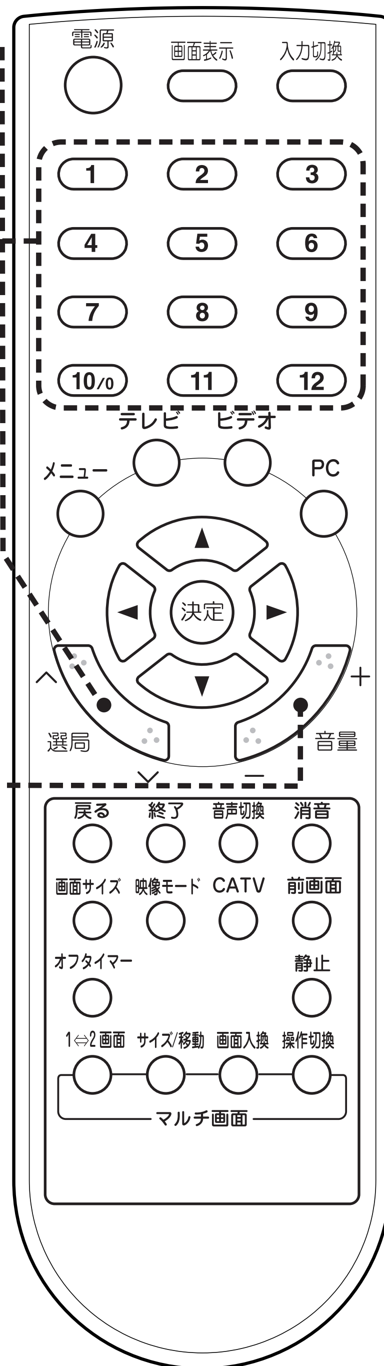
調節用の画面は、最後の操作から数秒後に自動的に消えます。

音量の表示について

- ヘッドホンが接続されているときは、ヘッドホンの音量調節になります。（🎧が表示されます。）
- 「機能切換」メニューの「音声出力選択」を「可変2」に設定すると、音声出力端子の音量レベル調節になります。（ が表示されます。）

Memo

- 音量は、PCモードとテレビモード／ビデオモードで、個別に設定できます。初めに、調節したい画面モードに切り換えてください。（☞45ページ）



広がりのある音で楽しむ（バーチャルドルビーサラウンド）

バーチャルドルビーサラウンド機能を使って、映画館のような迫力や臨場感あふれる音声をお楽しみいただけます。

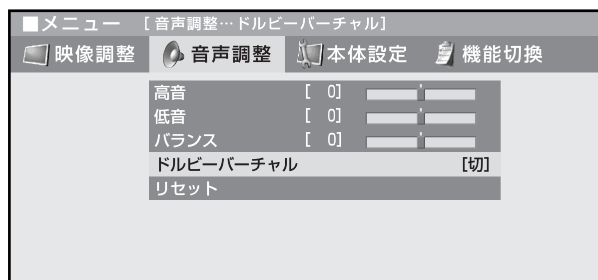


ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

1 メニュー を押す。

メニューが表示されます。
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

2 で「音声調整」の「ドルビーバーチャル」を選ぶ。



3 決定 を押す。

4 で「入」を選ぶ。

バーチャルドルビーサラウンド機能を使わないときは、「切」を選びます。

5 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

本機のスピーカーから出力される音声にバーチャルドルビーサラウンドの効果があります

- ヘッドホンや音声出力端子から出力される音声にバーチャルドルビーサラウンドの効果はありません。
- ヘッドホン接続時や、「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは、バーチャルドルビーサラウンド機能は使えません。

使ってみよう

こんな機能があります

TV テレビモードで使うことができます。

AV ビデオモードで使うことができます。

PC PCモードで使うことができます。

メニューを表示したり消したりします

TV AV ☞61ページ PC ☞71ページ

操作を終了します

TV AV PC

メニューで１つ前の画面に戻ります

TV AV PC

画面サイズを変更します

TV AV ☞57ページ PC ☞68ページ

映像に合わせて表示を変えます

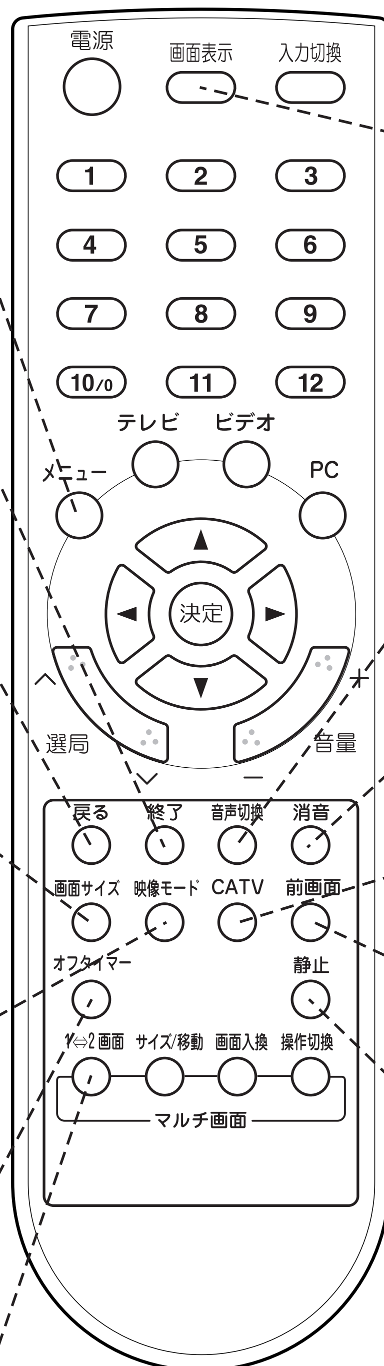
TV AV ☞59ページ PC ☞69ページ

指定した時間後に、自動的に電源を切ります

TV AV PC ☞80ページ

パソコンの画面とテレビやビデオを同時に表示します

TV AV PC ☞77ページ



チャンネルや音声モードを画面に表示します

TV AV ☞54ページ PC ☞67ページ

音声を切り換えます

TV ☞50ページ

一時的に音を消します

TV AV PC ☞81ページ

ケーブルテレビのチャンネルを選びます

TV ☞52ページ

前のチャンネルを表示します

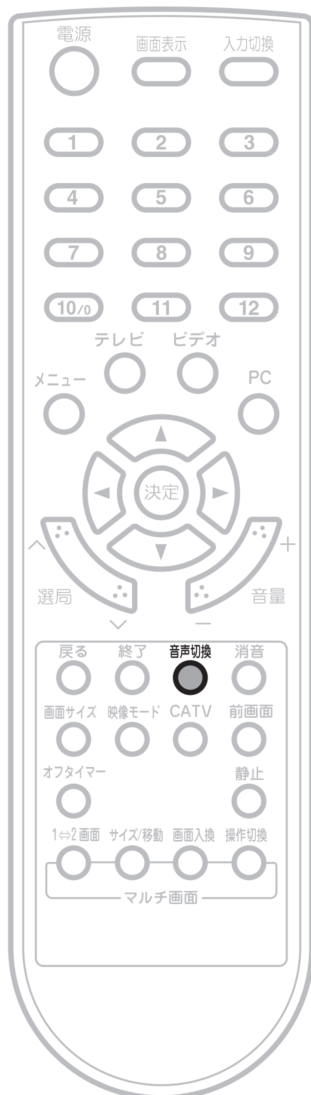
TV ☞52ページ

一時的に画面を止めます

TV AV ☞56ページ

ここでは、テレビを使っていただくための、いろいろな機能と操作方法について説明しています。
選局や音量の調節方法については「選局する・音量を調節する」(☞46ページ)を参照してください。

主音声／副音声やステレオ／モノラルを切り換える(音声切換)



二重音声放送やステレオ放送のとき、音声を切り換えることができます。放送の種類は、画面表示 を押して表示されるチャンネル番号の色で確認できます。

二重音声放送	赤色
ステレオ放送	黄色
モノラル放送	緑色

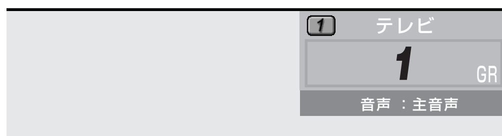
■ 主音声と副音声を切り換える

二重音声放送(外国映画やニュース)では、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り換えられます。

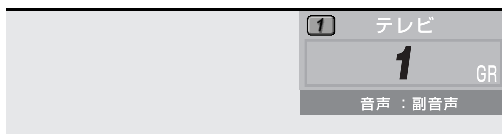
1 音声切換 **を押す。**
現在の音声が表示されます。

2 音声切換 **を押して音声を選ぶ。**
押すたびに、以下の順に切り換わります。

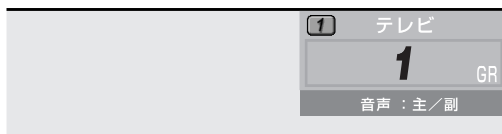
主音声

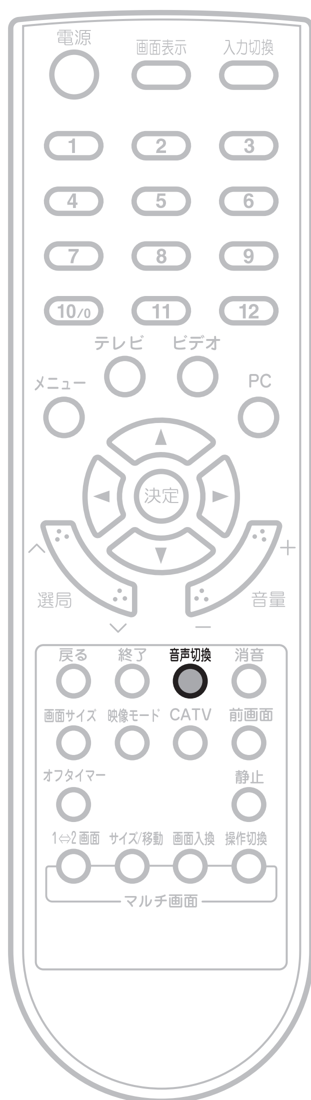


副音声



主音声＋副音声



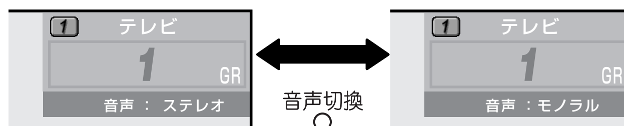


■ ステレオ放送をモノラル音声に切り換える

ステレオ放送で雑音が多いとき、モノラルに変えると、聞きやすくなることがあります。

1 音声切換 を押す。

押すたびに、ステレオとモノラルが切り換わります。

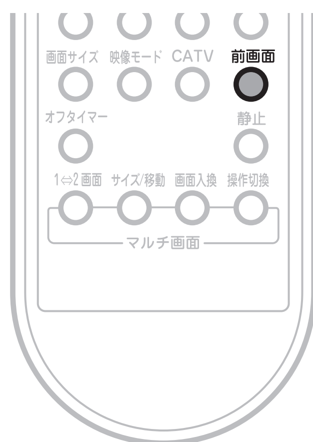


Memo

- モノラルにしておくと、雑音が少ないステレオ放送を受信していても、本機ではモノラル音声になります。通常は、ステレオにしておいてください。

テレビ・ビデオ

直前のチャンネルに戻す（前画面）



1 前画面 を押す。

直前に見ていたチャンネルに変わります。

ケーブルテレビ（CATV）のチャンネルを選ぶ



[例] ケーブルテレビのC13チャンネルを選ぶ

1 CATV を押す。



2 数字ボタン（ 1 、 3 ）を押す。



選局 でチャンネルを選ぶ

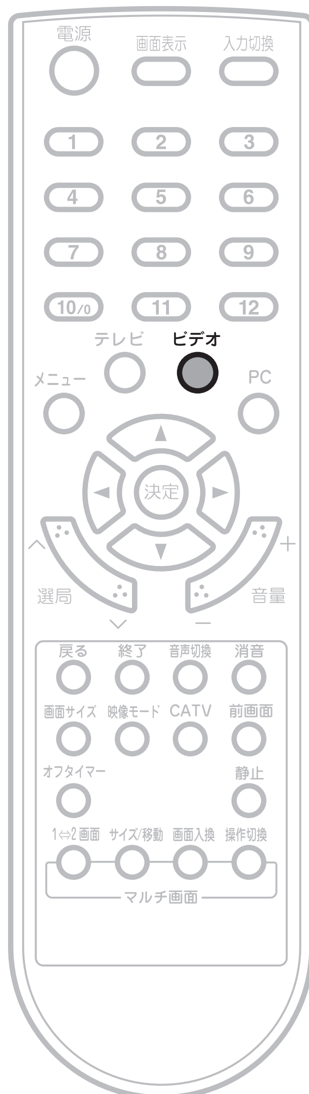
- 選局 または本体の［選局］で順に切り換えていくこともできます。
  その場合は、「本体設定」メニューの「チャンネル設定」の「個別」で「スキップ」を「しない」に設定してください。

ビデオやDVD・ゲームなどを楽しむ

ビデオやDVD、ゲーム機など、接続しているAV機器を表示することができます。(☞18ページ)

ビデオ1入力端子に接続した機器	画面モード「ビデオ1」
ビデオ2入力端子に接続した機器	画面モード「ビデオ2」
ビデオ3入力端子に接続した機器	画面モード「ビデオ3」

※ ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3とも同様の操作のため、本書ではビデオ1モード、ビデオ2モード、ビデオ3モードをまとめて「ビデオモード」と記載しています。



1 ビデオ を押してビデオモードにする。

押すたびに、ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ1...の順にビデオモードが切り換わります。



入力切換 で切り換えることもできます。(☞45ページ)

2 接続しているAV機器の電源を入れ、再生などの操作をする。

ビデオの再生について

- ビデオの高速サーチ中は、画像が表示されないことがあります。
- ビデオデッキやビデオテープによっては、ビデオのスロー再生時に画面が乱れる(チラつく)ことがあります。

D4映像入力端子について

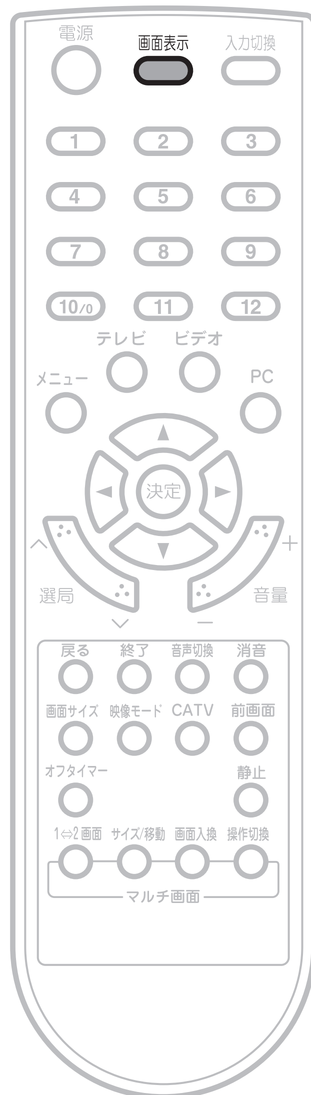
- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。

ゲーム機について

- 本機では、ゲーム用のピストルを使ったシューティングゲームはできません。

テレビ・ビデオモードの画面表示について

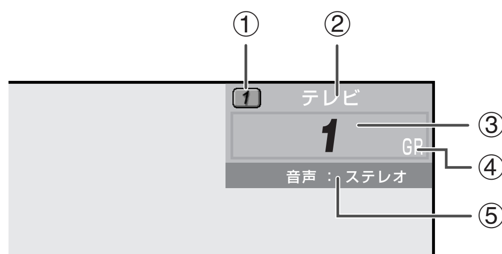
リモコン番号や、現在の画面モード、チャンネル番号、音声モードなどが確認できます。
表示される内容は、画面モードや設定によって異なります。



1 画面表示 を押す。

現在の状態が表示されます。
表示は数秒後に自動的に消えます。

テレビモードのときの画面表示



①リモコン番号
1～12のリモコン番号が表示されます。

②画面モード
現在の画面モードが表示されます。

③チャンネル番号
受信中のチャンネル番号が表示されます。
チャンネル番号の色は放送の種類により変わります。
二重音声放送－赤色
ステレオ放送－黄色
モノラル放送－緑色

④GR
GR（ゴーストリダクション）機能（☞43ページ）を「入」に設定しているときに表示されます。

⑤音声モード
音声の種類が表示されます。（☞50ページ）

ビデオモードのときの画面表示



①画面モード
現在の画面モード(ビデオ入力端子の番号)が表示されます。

②映像入力端子
使用している映像入力端子が表示されます。

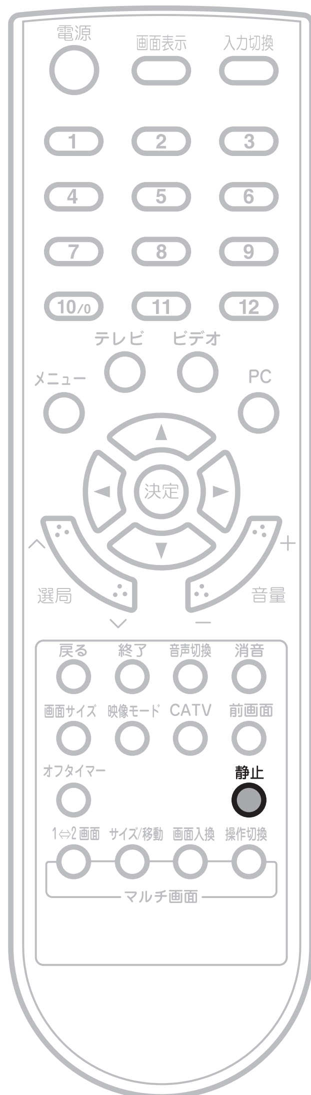
③映像解像度
入力信号の解像度が表示されます。
※入力端子がD4映像入力端子の場合に表示されます。

Memo

- 画面表示中にテレビの放送が切り換わると、放送と音声モードが一致しないことがあります。

一時的に画面を止める（静止）

テレビや接続しているAV機器の映像を一時的に止めることができます。料理のレシピやプレゼントの応募先などをメモするときに便利です。



1 静止○ を押す。

映像が止まります。

Memo

- マルチ画面の映像は止められません。

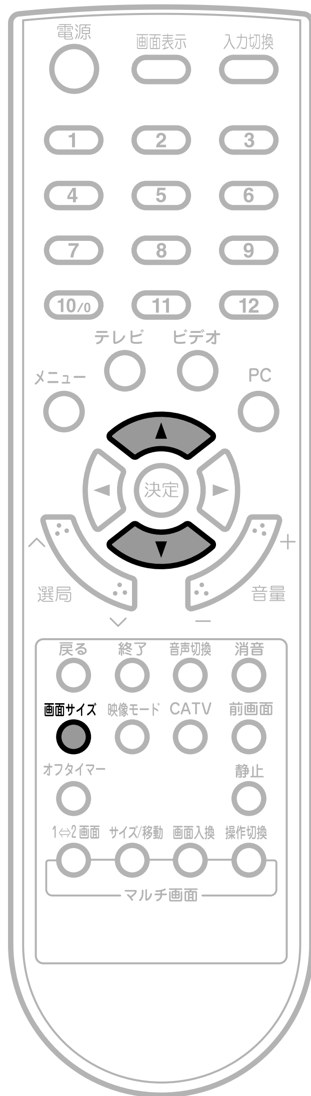
■ 解除するには

1 もう一度、静止○ を押す。

チャンネルや、画面モードを変えたときも解除されます。

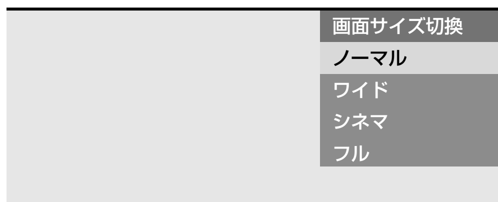
画面サイズを変更する

ビデオやDVDなどの映像に合わせて画面サイズを変更できます。



1 画面サイズ を押す。

「画面サイズ切換」メニューが表示されます。



「画面サイズ切換」メニューは、最後の操作から数秒後に自動的に消えます。

2 画面サイズ または ▲▼ で画面サイズを選ぶ。

ノーマル
通常のテレビ画面サイズ(横縦比4：3)の映像をそのまま表示。

ワイド
4：3の映像を画面全体に表示。

シネマ
映画など上下に帯の入った映像(レターボックス映像)を画面全体に表示。

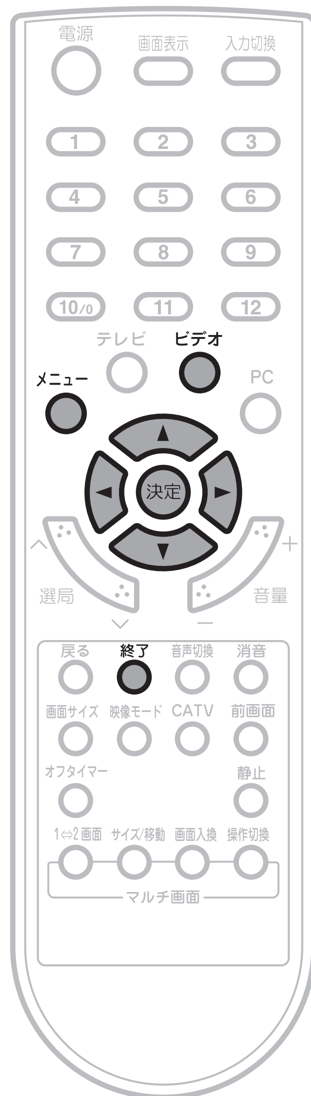
フル
16：9から4：3に圧縮された映像(フル映像ソフト)を元の16：9に戻して画面全体に表示。

画面サイズについて

- 受信内容や映像ソフトによっては、画面の周囲が少し切れたり、周囲に黒い帯が残る場合があります。
- 「シネマ」で字幕が切れる場合は、「ワイド」にしてください。
- D４映像入力端子をお使いの場合、入力信号が高画質(D３(１１２５i)やD４(750p))のとき、画面サイズは変更できません。映像は16:9で表示されます。
- 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、画面サイズ機能を使って映像の圧縮･引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面サイズを自動的に調整する（S2対応・D端子識別）

S2映像入力端子やD4映像入力端子から入力される映像に、画面サイズ制御信号が含まれている場合、自動的に画面サイズを切り換えるように設定できます。

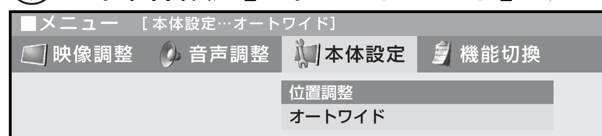


1 ビデオ を押す。

2 メニュー を押す。

メニューが表示されます。
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

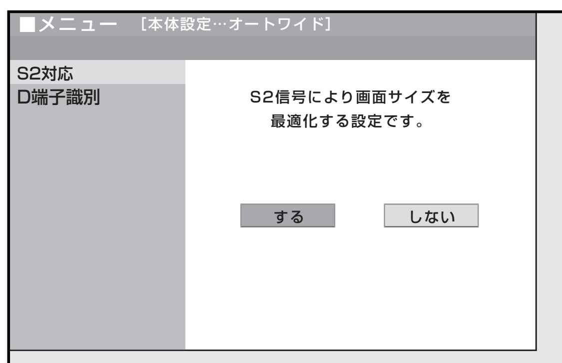
3 で「本体設定」の「オートワイド」を選ぶ。



4 決定 を押す。

5 で「S2対応」または「D端子識別」を選び、決定 を押す。

S2映像入力端子の映像の場合：「S2対応」を選びます。
D4映像入力端子の映像の場合：「D端子識別」を選びます。



6 で「する」を選ぶ。

7 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

D端子識別について

- D端子識別は、接続先機器の出力端子がD端子（本機のD4入力端子と同じ形状の端子）の場合有効です。コンポーネント端子（端子が3つに分かれているもの）の場合は、無効です。
- 入力信号が高画質（D3（1125i）やD4（750p））のときは、変更されません。

映像モードを変える

見ている映像に合わせて表示(映像モード)を変えることができます。

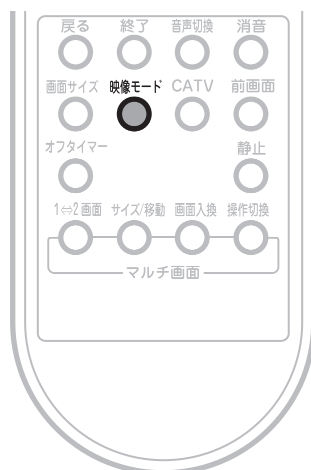
標準
標準設定で表示します。

ダイナミック
くっきりと色鮮やかな映像になります。

映画
コントラスト感を抑えることにより、暗い映像がより見やすくなります。

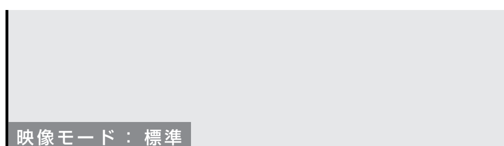
ゲーム
明るさを抑えた映像になります。

ユーザー
お好みに調整した内容で映像を表示します。
テレビモード、ビデオ1モード、ビデオ2モード、ビデオ3モードで個別に調整できます。画面モードごとに調整を変える場合に便利です。



1 映像モード ○ **を押す。**

画面左下に映像モードが表示されます。



2 映像モード ○ **を押して映像モードを選ぶ。**

押すたびに、以下の順に切り換わります。

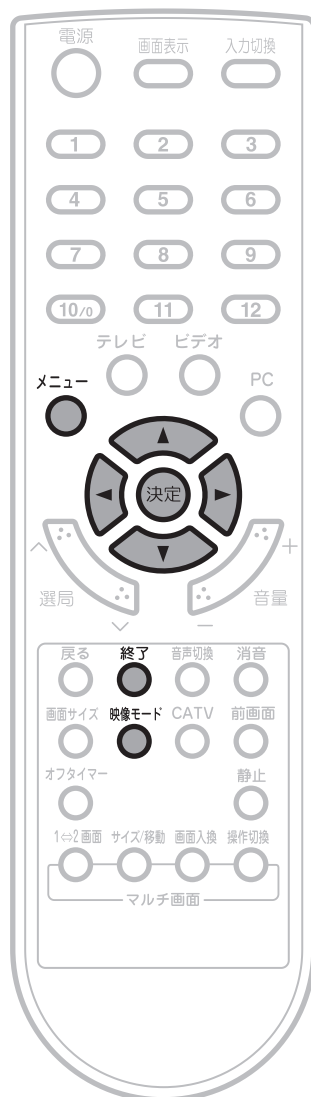
標準→ダイナミック→映画→ゲーム→ユーザー→標準...

Memo

- 映像モードは、それぞれの効果を出すため、あらかじめ「映像調整」メニューの各項目の調整をしています。
  また、「映像調整」メニューで各項目を調整することができます。ただし、調整すると、調整した内容が記憶され、上記の効果が出なくなることがあります。

映像モードを調整する

あらかじめ設定されている各映像モードの調整内容を、お好みに合わせて調整することができます。
「標準」「ダイナミック」「映画」「ゲーム」はテレビモード、ビデオモード共通です。「ユーザー」は画面モードごとに調整できます。



1 調整する画面モード(テレビまたはビデオモード)にする。

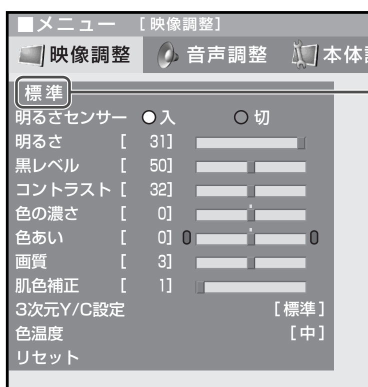
2 映像モード を押して、調整したい映像モードにする。

3 メニュー を押す。

メニューが表示されます。
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

4 ◀ ▶ で「映像調整」を選ぶ。

5 ▲ ▼ で調整したい項目を選び、◀ ▶ で値や設定を変更する。



調整する映像モードが表示されます。

「3次元Y/C設定」や「色温度」は、決定 を押し、次に表示される画面で設定を変更します。

6 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

工場出荷時の調整値に戻したいときは

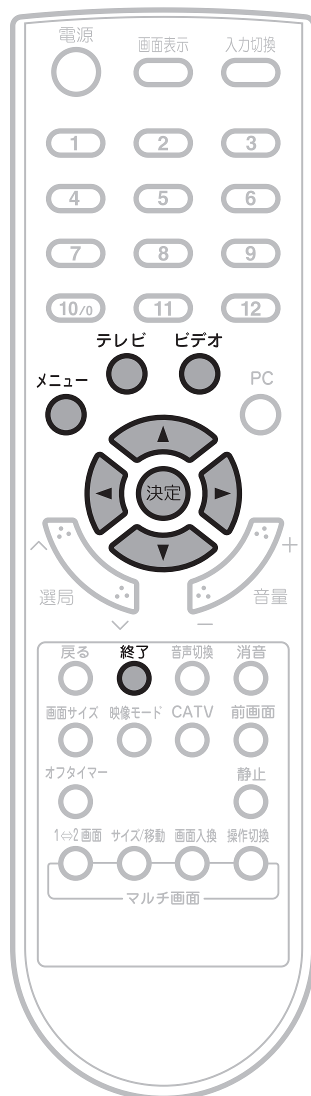
- 手順**5**で「映像調整」メニューの「リセット」を選んで 決定 を押します。

テレビ／ビデオモードの調整について

テレビモード／ビデオモードの映像･音声などの調整や各種機能の設定ができます。

設定を変更する（操作例）

ここでは操作方法について説明します。各項目の説明については、63～64ページをご覧ください。



1 テレビ を押してテレビモードにする。

ビデオモードの調整をするときは、ビデオ を押してビデオモードにしてください。

2 メニュー を押す。

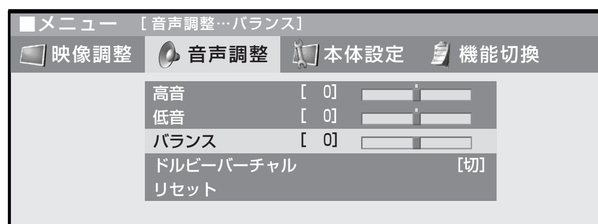
メニューが表示されます。



メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

3 ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ。

4 ▲▼ で項目を選ぶ。

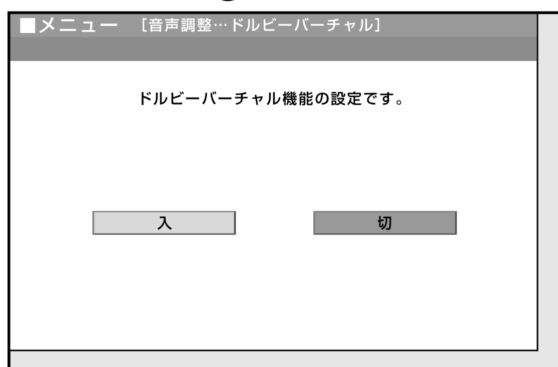


5 設定を調整する。

で「高音」や「低音」などの調整をします。
「ドルビーバーチャル」など、 で設定できない項目は、 を押し、次に表示される画面で設定します。

直接設定値を選ぶ画面

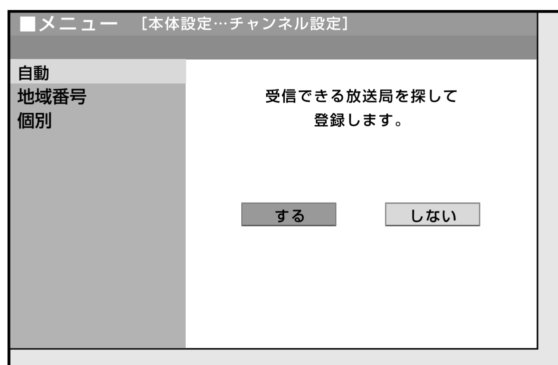
を押したあと、 で設定値を選びます。



※画面は「音声調整」メニューの「ドルビーバーチャル」の例

さらに項目を選ぶ画面

を押したあと、 で項目を選んで を押し、 で設定値を選びます。



※画面は「本体設定」メニューの「チャンネル設定」の例

6 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

メニューの表示色について

- 灰色の文字で表示されている項目は、選べないことを表しています。

続けて別の項目を調整するときは

- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

設定できる項目

映像調整(☞右記)

明るさセンサー
明るさ
黒レベル
コントラスト
色の濃さ
色あい
画質
肌色補正
3次元Y/C設定
色温度

音声調整(☞64ページ)

高音
低音
バランス
ドルビーバーチャル

本体設定(☞64ページ)

チャンネル設定※
位置調整
オートワイド

機能切換(☞64ページ)

QS駆動
音声出力選択

※ビデオモードの場合、表示されません。

■ 映像調整メニュー

1行目に、現在の映像モード(☞59ページ)が表示されます。
以下の項目は、表示されている映像モードに対しての調整です。

明るさセンサー
「入」に設定すると周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に変わります。

明るさ
バックライトの明るさを調整します。
※「明るさセンサー」の設定を「入」にしているとき、「明るさ」を調節すると「明るさセンサー」は「切」になります。

黒レベル
画面全体の明るさを調整します。

コントラスト
コントラストを調整します。

色の濃さ
色の濃さを調整します。

色あい
色あいを調整します。

画質
画質を調整します。

肌色補正
肌の色あいを調整します。

3次元Y/C設定
表示する映像に合わせて選択すると、画質が改善されます。
※ S2映像入力端子やD4映像入力端子を使用している場合、設定できません。

色温度
白色の度合いを調整します。
- 高
  標準設定よりも青みがかった色あい
- 高－中
  標準設定よりもやや青みがかった色あい
- 中
  標準設定
- 中－低
  標準設定よりもやや赤みがかった色あい
- 低
  標準設定よりも赤みがかった色あい

次ページへつづく

リセット
現在の映像モードの「映像調整」メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。

■ 音声調整メニュー

ヘッドホン接続時や、「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは調整できません。

高音
高音を調整します。

低音
低音を調整します。

バランス
音声の左右のバランスを調整します。

ドルビーバーチャル
バーチャルドルビーサラウンド機能を使うかどうかを設定します。

リセット
「音声調整」メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。

※「高音」、「低音」、「バランス」は、「ドルビーバーチャル」が「切」に設定されている場合のみ調整できます。

■ 本体設定メニュー

チャンネル設定（テレビモードのみ）
詳しくは29ページをご覧ください。

位置調整
映像の位置を調整します。
- 水平位置
  左右の位置を調整します。
- 垂直位置
  上下の位置を調整します。
- リセット
  上下左右の位置を工場出荷時に戻します。

オートワイド
詳しくは58ページをご覧ください。

■ 機能切換メニュー

QS駆動
「する」に設定すると、スポーツ番組など、動きの速い映像がくっきりと、より見やすくなります。（QS：クイックシュート）

音声出力選択
音声出力端子からの出力方法を設定します。
- 固定
  音声出力端子の音量が固定されます。
  ビデオデッキを接続して録画をする場合などには「固定」に設定してください。
  出力端子から出力される映像と音声が一致します。（出力端子から出力される映像と音声は、本機に表示される映像と本機のスピーカーの音声に対して、若干早く出力されます。）
- 可変1
  音声出力端子の音量が調節できます。（☞46ページ）
  本機の映像を見ながら、本機のスピーカーと外部スピーカー両方の音声を楽しむ場合などに設定してください。
  本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。（出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。）
- 可変2
  音声出力端子の音量が調節できます。（☞46ページ）
  本機の映像を見ながら、外部スピーカーだけの音声を楽しむ場合などに設定してください。
  本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。（ヘッドホン端子からは出力されます。）
  本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。（出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。）

パソコンの画面を映す

ここでは、PCモードにして、パソコンのモニターとして使う方法について説明しています。

PC入力端子(アナログ／デジタル)の切り換え

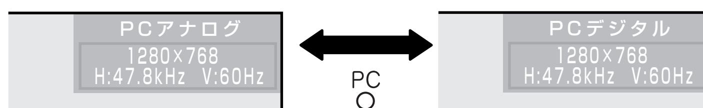
PCモードにはPCアナログモードと、PCデジタルモードがあります。



1 PC を押してPCモードにする。

2 PC を押す。

押すたびに信号入力端子(アナログ／デジタル)が切り換わります。



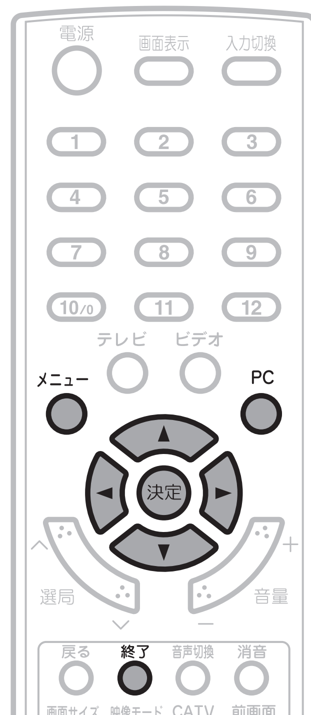
入力切換 で切り換えることもできます。(☞45ページ)

入力信号について

- 入力信号がない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

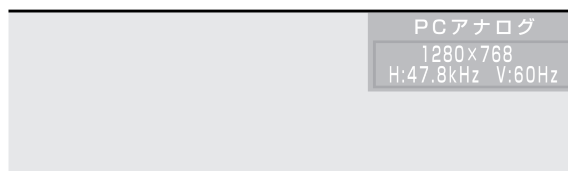
自動調整する(アナログ接続時)

アナログ接続でパソコンのモニターとして初めて使用するときは、画面を自動調整してください。「クロック」、「フェーズ」、「水平位置」、「垂直位置」が最適な状態に設定されます。
デジタル接続でお使いの場合は、自動調整する必要はありません。



1 PC を押してPCアナログモードにする。

画面右上に「PCアナログ」が表示されます。



「PCデジタル」と表示された場合は、もう一度 PC を押してください。

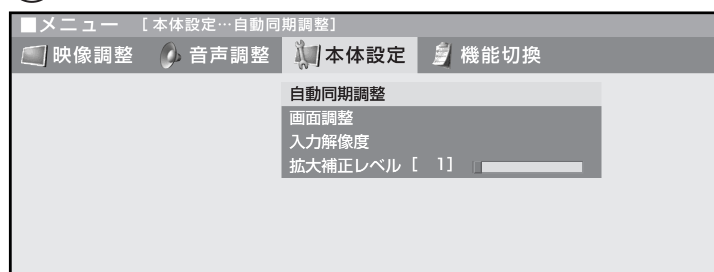
2 パソコンの画面全体が明るくなるような画像を表示する。

Windowsをお使いの場合は、CD-ROM(付属)内の調整用パターンを利用してください。(☞67ページ)

3 メニュー を押す。

メニューが表示されます。
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

4 で「本体設定」の「自動同期調整」を選ぶ。



5 決定 を押す。

6 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す。

「自動同期調整中です。」と表示され、数秒後、メニューに戻ります。

7 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

パソコンの解像度によっては本機での設定が必要です

- 本機とアナログ接続したパソコンを、1360×768、1280×768、1024×768の解像度でお使いの場合は、「本体設定」メニューの「入力解像度」の「768ライン」をお使いの解像度に設定してください。(☞75ページ)
- 本機とアナログ接続したパソコンを、640×480、848×480の解像度でお使いの場合は、「本体設定」メニューの「入力解像度」の「480ライン」をお使いの解像度に設定してください。(☞75ページ)

次のような場合は必要に応じて手動で調整してください

「本体設定」メニューの「画面調整」で調整できます。(☞75ページ)

- さらに微調整が必要なとき
- 「自動同期調整できませんでした。」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合、動画やMS-DOSプロンプトの画面を表示しているときなど、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。もう一度自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)
- パソコンからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では正しく調整できないことがあります。)

Memo

- 1回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を2〜3回繰り返してみてください。

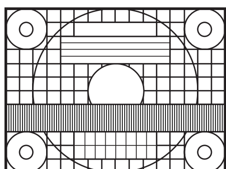
■ 調整用パターン(Windows用)について

1 CD-ROM(付属)をパソコンのCD-ROMドライブにセットする。

2 「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。

3 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。



調整終了後は、パソコンの【Esc】キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

Memo

- 使用するパソコンの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

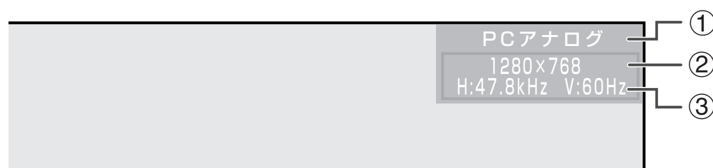
PCモードの画面表示について

現在の画面モード、入力信号の解像度、水平周波数、垂直周波数を確認できます。
表示される内容は、画面モードや設定によって異なります。



1 画面表示 を押す。

現在の状態が表示されます。
表示は数秒後に自動的に消えます。

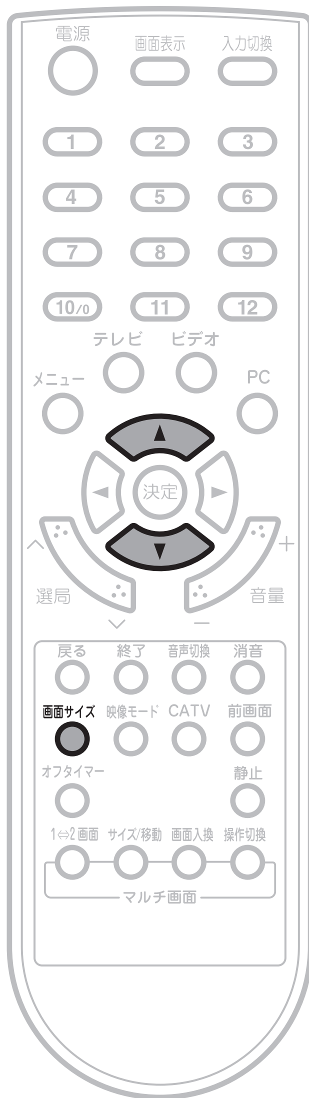


①画面モード
現在の画面モードが表示されます。

②信号解像度
入力信号の解像度が表示されます。
解像度が識別できないときは「−−−x−−−」と表示されます。

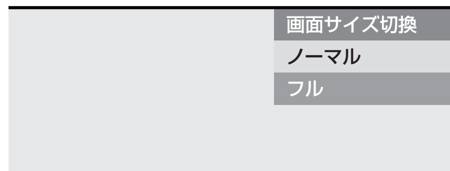
③水平周波数・垂直周波数
入力信号の水平周波数(H)と垂直周波数(V)が表示されます。

画面サイズを変更する



1 画面サイズ を押す。

「画面サイズ切換」メニューが表示されます。



「画面サイズ切換」メニューは、最後の操作から数秒後に自動的に消えます。

2 画面サイズ または ▲ ▼ で、画面サイズを選ぶ。

ノーマル
画面の横縦比を変えずに表示。画面の解像度が1024×768未満の場合は、拡大して表示します。

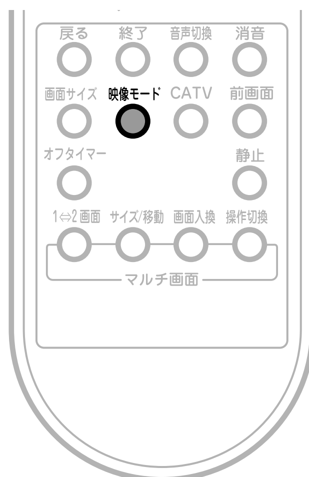
フル
画面全体に拡大して表示。（横縦比が変わる場合があります。）

映像モードを変える

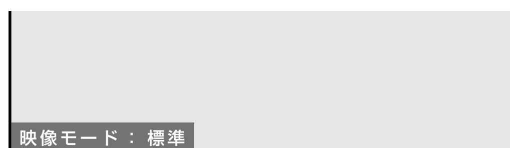
画面の表示に合わせて、表示(映像モード)を変えることができます。

標準
標準設定で表示します。

ユーザー
お好みに調整した内容で映像を表示します。
アナログ接続とデジタル接続で個別に調整できます。PCアナログモードとPCデジタルモードで調整を変える場合に便利です。



1 映像モード を押す。
画面左下に映像モードが表示されます。



2 映像モード を押して映像モードを選ぶ。
押すたびに、以下の順に切り換わります。
標準→ユーザー→標準...

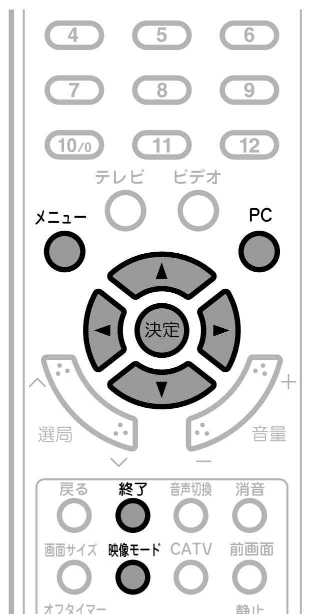
Memo

- 映像モードは、それぞれの効果を出すため、あらかじめ「映像調整」メニューの各項目の調整をしています。
  また、「映像調整」メニューで各項目を調整することができます。ただし、調整すると、調整した内容が記憶され、上記の効果が出なくなることがあります。

パソコン

映像モードを調整する

あらかじめ設定されている映像モードの調整内容は、お好みに合わせて調整することができます。



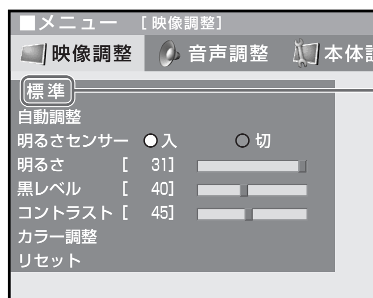
1 PC を押して調整したい画面モード(PCアナログまたはPCデジタル)を選ぶ。

2 映像モード を押して、調整したい映像モードにする。

3 メニュー を押す。
メニューが表示されます。
メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

4 ◀ ▶ で「映像調整」を選ぶ。

5 ▲▼で調整したい項目を選び、◀ ▶で値や設定を変更する。



「自動調整」や「カラー調整」は、決定 を押し、次に表示される画面で設定を変更します。

6 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

工場出荷時の調整値に戻したいときは

- 手順5で「映像調整」メニューの「リセット」を選んで 決定 を押します。

Memo

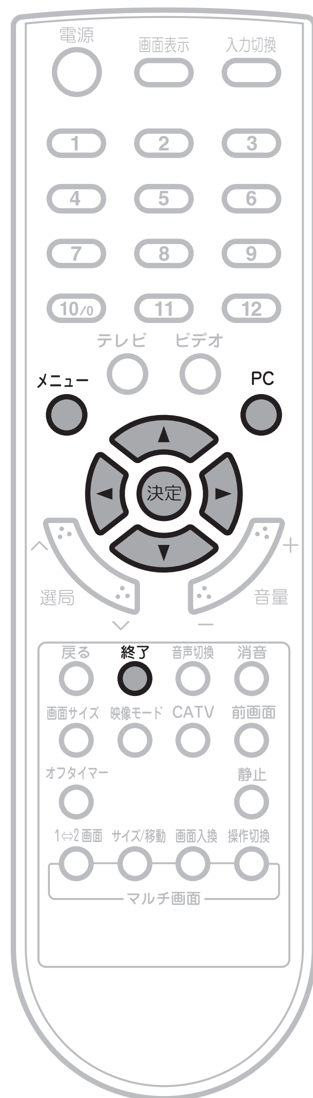
- PCデジタルモードでは、「自動調整」「黒レベル」「コントラスト」は表示されません。(調整できません。)

PCモードの調整について

パソコン画像のカラー調整や各種機能の設定ができます。

設定を変更する（操作例）

ここでは操作方法について説明します。各項目の説明については、73～76ページをご覧ください。



1 PC を押してPCアナログモードにする。

PCデジタルモードの調整をするときは、PCデジタルモードにしてください。

2 「映像調整」メニューや「本体設定」メニューを調整する場合は、パソコンの画面全体が明るくなるような画像を表示する。

Windowsをお使いの場合は、CD-ROM（付属）内の調整用パターンを利用してください。（☞67ページ）（本書では調整用パターンを利用した調整のしかたを基本に説明しています。）

3 メニュー を押す。

メニューが表示されます。



メニューは、約30秒間ボタン操作がないと自動的に消えます。

4 ◀ ▶ で「音声調整」メニューを選ぶ。

5 ▲ ▼ で項目を選ぶ。



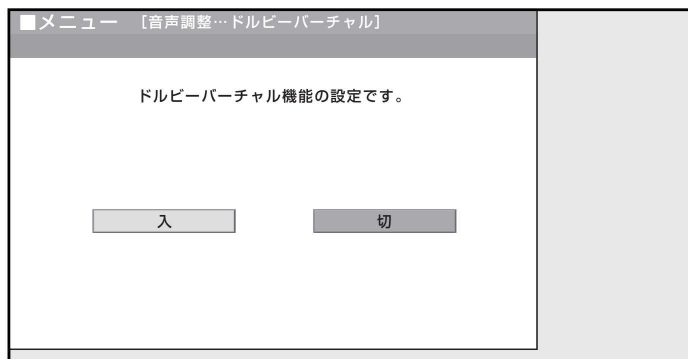
パソコン

6 設定を調整する。

で「高音」や「低音」などの調整をします。
「ドルビーバーチャル」など、で設定できない項目は、決定を押し、次に表示される画面で設定します。

直接設定値を選ぶ画面

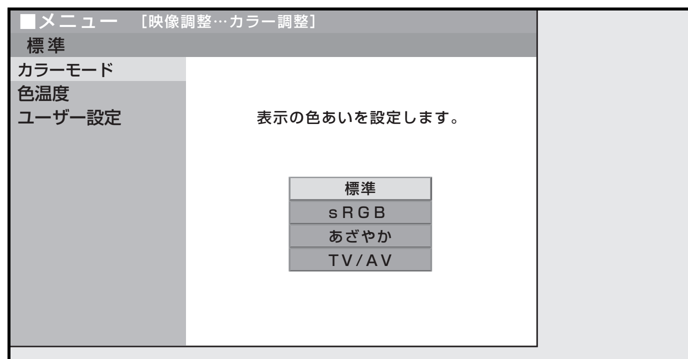
決定を押したあと、で設定値を選びます。



※画面は「音声調整」メニューの「ドルビーバーチャル」の例

さらに項目を選ぶ画面

決定を押したあと、で項目を選んで決定を押し、で設定値を選びます。



※画面は「映像調整」メニューの「カラー調整」の例

7 メニュー または 終了 を押す。

メニューが消えます。

メニューの表示色について

- 灰色の文字で表示されている項目は、選べないことを表しています。

続けて別の項目を調整するときは

- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

設定できる項目

映像調整（☞右記）

自動調整※
明るさセンサー
明るさ
黒レベル※
コントラスト※
カラー調整

音声調整（☞74ページ）

高音
低音
バランス
ドルビーバーチャル

本体設定（☞75ページ）

自動同期調整※
画面調整※
入力解像度※
拡大補正レベル

機能切換（☞76ページ）

QS駆動
音声出力選択

※ デジタル接続でお使いの場合、表示されません。（調整は不要です。）

■ 映像調整メニュー

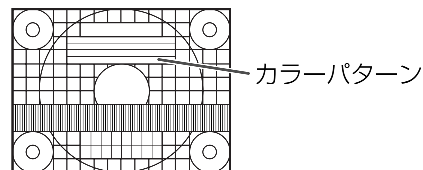
1行目に、現在の映像モード(☞69ページ)が表示されます。以下の項目は、表示されている映像モードに対しての調整です。

自動調整（アナログ接続時のみ）
画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、「黒レベル」と「コントラスト」の自動調整をします。

明るさセンサー
「入」に設定すると周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に変わります。

明るさ
バックライトの明るさを調整します。
※「明るさセンサー」の設定を「入」にしているとき、「明るさ」を調節すると「明るさセンサー」は「切」になります。

黒レベル（アナログ接続時のみ）
カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。



コントラスト（アナログ接続時のみ）
カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。

次ページへつづく

パソコン

カラー調整
表示の色あいを選んだり、白色の度合いを調整します。

- カラーモード
  表示の色あいを選びます。
  標準　：液晶モニター本来の色あいを生かした表示になります。
  sRGB　：IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色あいでの表示になります。
  あざやか：原色をダイナミックに表示します。
  TV/AV　：パソコンでテレビやDVDを見るときに適した色合いで表示します。
- 色温度
  白色の度合いを調整します。
  ※ すべての階調を表示したいときは、「中」に設定してください。
  高　：「中」よりも青みがかった色あい
  高－中　：「中」よりもやや青みがかった色あい
  中　：標準設定
  中－低　：「中」よりもやや赤みがかった色あい
  低　：「中」よりも赤みがかった色あい
  ユーザー設定：下記の「ユーザー設定」で調整した色合いになります。
- ユーザー設定
  「色温度」を「ユーザー設定」にしたとき、赤色、緑色、青色をそれぞれ調整します。
  「リセット」は、赤色、緑色、青色の調整値を工場出荷時の状態に戻します。

リセット
現在の映像モードの「映像調整」メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。

※「色温度」は、「カラーモード」が「標準」に設定されている場合にのみ調整できます。

自動調整について

- 調整用パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の白色と黒色が表示されている必要があります。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
- コンピュータからの信号がコンポジット･シンクやシンク･オン･グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。
- 「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動で調整してください。

■ 音声調整メニュー

ヘッドホン接続時や、「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは調整できません。

高音
高音を調整します。

低音
低音を調整します。

バランス
音声の左右のバランスを調整します。

ドルビーバーチャル
バーチャルドルビーサラウンド機能を使うかどうかを設定します。

リセット
「音声調整」メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。

※「高音」「低音」「バランス」は、「ドルビーバーチャル」が「切」に設定されている場合にのみ調整できます。

■ 本体設定メニュー

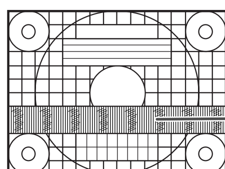
自動同期調整(アナログ接続時のみ)

「クロック」、「フェーズ」、「水平位置」、「垂直位置」を自動的に調整します。(☞65ページ)

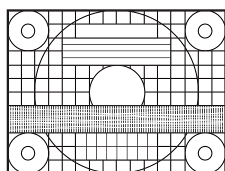
画面調整(アナログ接続時のみ)

「クロック」、「フェーズ」、「水平位置」、「垂直位置」を調整します。

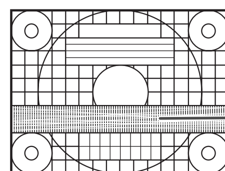
- クロック
  調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整します。



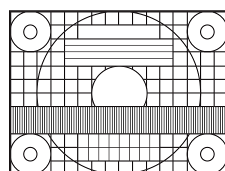




- フェーズ
  「クロック」を調整した後、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整します。







- 水平位置、垂直位置
  調整用パターン全体が画面内に表示されるように、左右と上下の位置を調整します。



- リセット
  「画面調整」の調整値を工場出荷時の状態に戻します。

入力解像度(アナログ接続時のみ)

入力信号の解像度を設定します。

- 480ライン
  本機とアナログ接続したパソコンを、640×480、848×480の解像度でお使いの場合、お使いの解像度に設定してください。
- 768ライン
  本機とアナログ接続したパソコンを、1360×768、1280×768、1024×768の解像度でお使いの場合、お使いの解像度に設定してください。

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを調整します。

■ 機能切換メニュー

QS駆動

「する」に設定すると、動きの速い映像がくっきりと、より見やすくなります。
（QS：クイックシュート）

音声出力選択

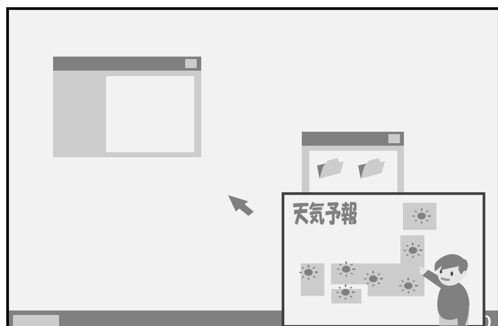
音声出力端子からの出力方法を設定します。

- 固定
  音声出力端子の音量が固定されます。
  ビデオデッキを接続して録画をする場合などには「固定」に設定してください。
  出力端子から出力される映像と音声が一致します。（出力端子から出力される映像と音声は、本機に表示される映像と本機のスピーカーの音声に対して、若干早く出力されます。）
- 可変1
  音声出力端子の音量が調節できます。（☞46ページ）
  本機の映像を見ながら、本機のスピーカーと外部スピーカー両方の音声を楽しむ場合などに設定してください。
  本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。（出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。）
- 可変2
  音声出力端子の音量が調節できます。（☞46ページ）
  本機の映像を見ながら、外部スピーカーだけの音声を楽しむ場合などに設定してください。
  本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。（ヘッドホン端子からは出力されます。）
  本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。（出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。）

2画面で見る(マルチ画面)

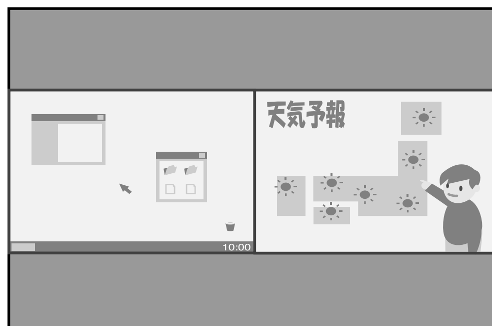
パソコンの画面とテレビやビデオの映像を同時に表示することができます。

子画面表示



通常の画面(親画面)の上に小さな画面(子画面)を表示します。子画面は、大きさを変えたり移動したりできます。

2画面表示

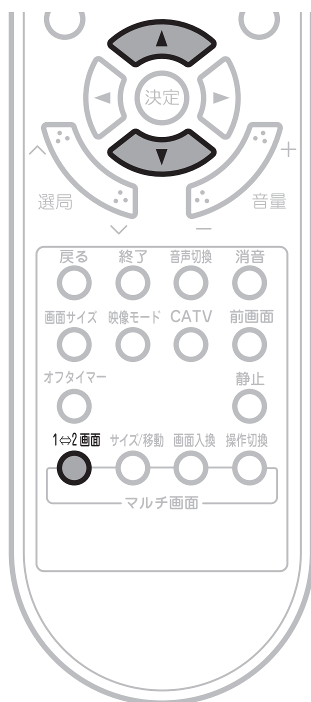


パソコンの画面とテレビやビデオの映像を左右2画面で表示します。

マルチ画面で表示できる組み合わせについて

- パソコンの画面とテレビの映像
- パソコンの画面とビデオの映像

マルチ画面で表示する



1 1⇔2画面 を押す。

「マルチ画面切換」メニューが表示されます。



2 1⇔2画面 または ▲▼ で「子画面」や「2画面」を選ぶ。

マルチ画面で表示されます。

マルチ画面で表示しているときは

- メニュー を押してもメニューは表示されません。

通常の画面に戻すときは

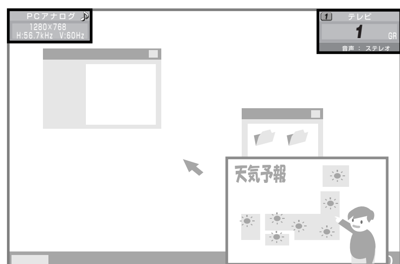
- 「マルチ画面切換」メニューで「1画面」を選びます。

マルチ画面

■マルチ画面での画面表示について

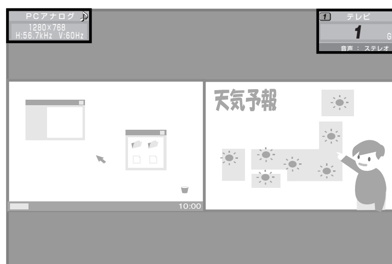
子画面表示

親画面の情報が左、子画面の情報が右に表示されます。



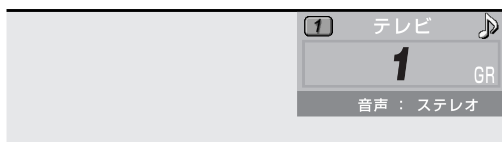
2画面表示

左画面の情報が左、右画面の情報が右に表示されます。



■操作できる画面について

選局や音量の調節など操作できる画面には、画面表示に「♪」が表示されます。



音声は「♪」のある画面のものが聞けます。

操作できる画面を変えるには

- 操作切換 を押します。

マルチ画面で表示しているときの入力切換について

- パソコンの画面をテレビやビデオには変えられません。
- テレビやビデオの画面をパソコンの画面に変えられません。

画面を入れ換える

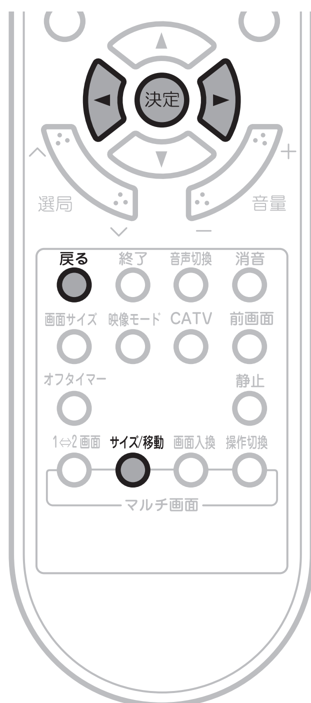
マルチ画面で表示している2つの画面を入れ換えることができます。



1 画面入換 **を押す。**

子画面表示の場合は、親画面と子画面が入れ換わります。
2画面表示の場合は、左右の画面が入れ換わります。

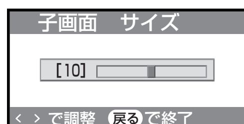
子画面の大きさを変える



1 サイズ/移動 **を押す。**

「子画面サイズ」画面が表示されます。

「子画面移動」画面が表示されたときは、もう一度 サイズ/移動 を押してください。



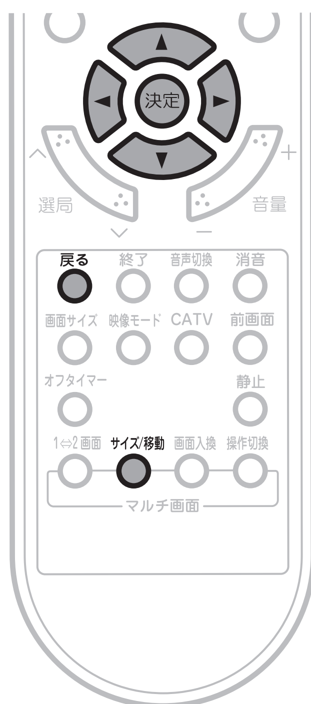
「子画面サイズ」画面は数秒間操作がないと自動的に消えます。

2 ◀ ▶ **で子画面の大きさを調節する。**

3 決定 **または** 戻る **を押す。**

「子画面サイズ」画面が消えます。

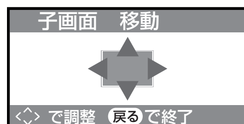
子画面の位置を移動する



1 サイズ/移動 **を押す。**

「子画面移動」画面が表示されます。

「子画面サイズ」画面が表示されたときは、もう一度 サイズ/移動 を押してください。



「子画面移動」画面は数秒間操作がないと自動的に消えます。

2 ▲▼◀▶ **で子画面を移動する。**

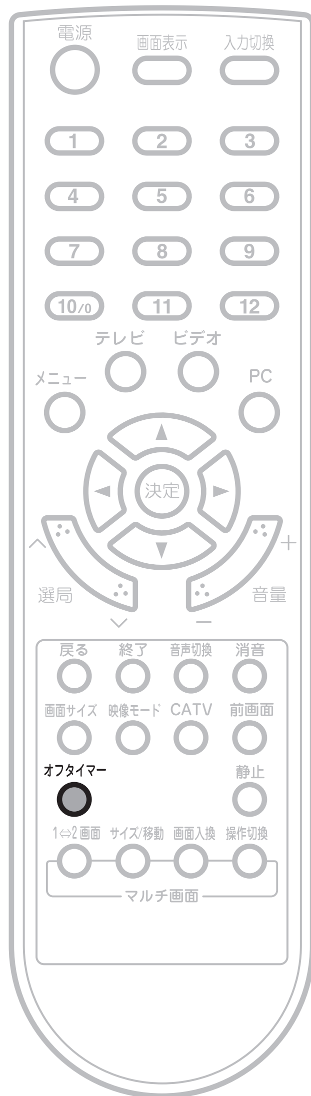
3 決定 **または** 戻る **を押す。**

「子画面移動」画面が消えます。

マルチ画面

指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます(待機状態)。就寝時などに使うと便利です。



1 オフタイマー ○ を押す。

画面左下にオフタイマーが表示されます。



2 オフタイマー ○ を数回押して時間を指定する。

押すたびに、以下の順に切り換わります。
切(解除)→30分→60分→90分→120分→150分→切(解除)...
指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れ、オフタイマーは解除されます。
オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が1分ごとに数秒間表示されます。

Memo

- オフタイマー動作中に電源を切ると、オフタイマーは解除されます。
- PCモードでお使いの場合オフタイマーを設定したあと、パワーセーブ状態(電源ランプオレンジ色点灯)になるとオフタイマーは解除されます。

■オフタイマーの残り時間を確認するには

1 オフタイマー ○ を押す。

オフタイマーの残り時間が数秒間表示されます。



■指定した時間を変更するには

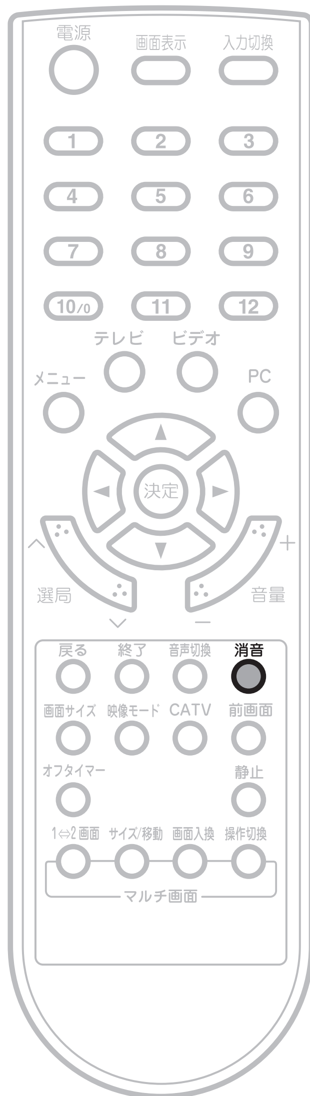
1 オフタイマー ○ を押す。

残り時間が表示されます。

2 オフタイマー ○ を数回押して時間を指定し直す。

一時的に音を消す（消音）

電話がかかってきたときや、不意の来客の応対など、一時的に音を消したいときに便利です。



1 消音 を押す。

音が消え、画面に が数秒間表示されます。
表示は音声の出力状態により変わります。

ヘッドホンが接続されているとき



「機能切換」メニューの「音声出力選択」を「可変2」に設定しているとき



音声出力端子からの音声について

- 「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変1」または「可変2」のとき、音声出力端子からの音声も消えます。

■ 解除するには

1 もう一度、消音 を押す。

こんなときは消音が解除されます

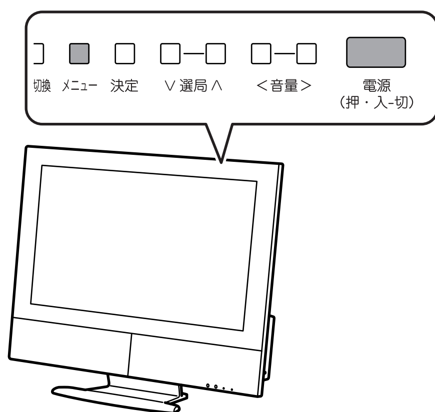
- 音量＋－、本体の[音量]を押したとき
- 電源を切り再び入れたとき
- PCモードでパワーセーブ状態から復帰したとき

操作を制限する(調整ロック)

電源 と本体の[電源]以外の操作ボタンを効かなくして操作を制限したり、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1 本体の[電源]を押して電源を切る。

2 本体の[メニュー]を押したまま、本体の[電源]を押して電源を入れる。



画面に「調整ロックを設定しますか?」と表示されるまで押し続けてください。

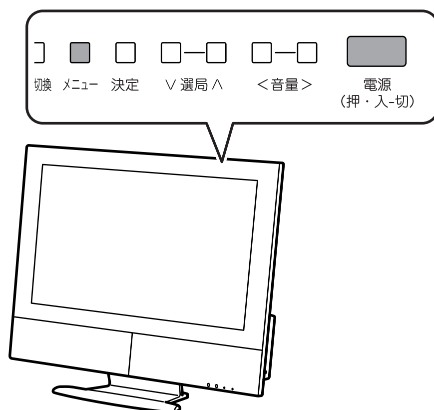
3 本体の[音量>]を押す。

調整ロックが設定されます。

■ 解除するには

1 本体の[電源]を押して電源を切る。

2 本体の[メニュー]を押したまま、本体の[電源]を押して電源を入れる。



画面に「調整ロックを解除しますか?」と表示されるまで押し続けてください。

3 本体の[音量>]を押す。

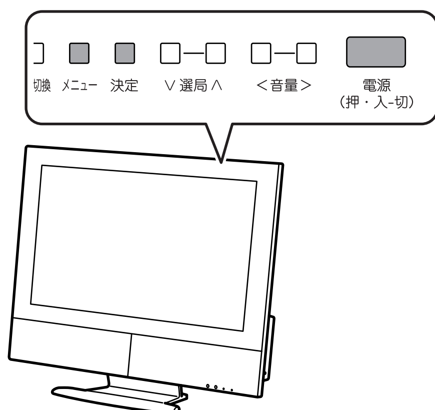
調整ロックが解除されます。

調整値を工場出荷時の状態に戻す(オールリセット)

テレビモードとビデオモード、PCモードすべてのモードの調整値がリセットされます。
調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

1 本体の[電源]を押して電源を切る。

2 本体の[メニュー]と[決定]を押したまま、本体の[電源]を押して電源を入れる。



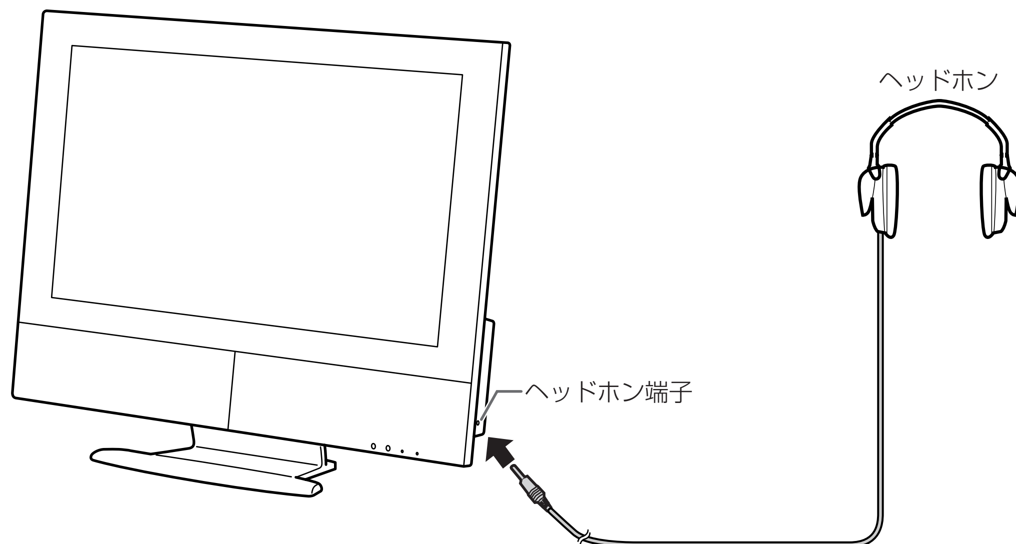
画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージが消えると、オールリセットは完了です。

Memo

- 「オールリセット中」の表示中は操作ボタンは効きません。

ヘッドホン(市販)を使う

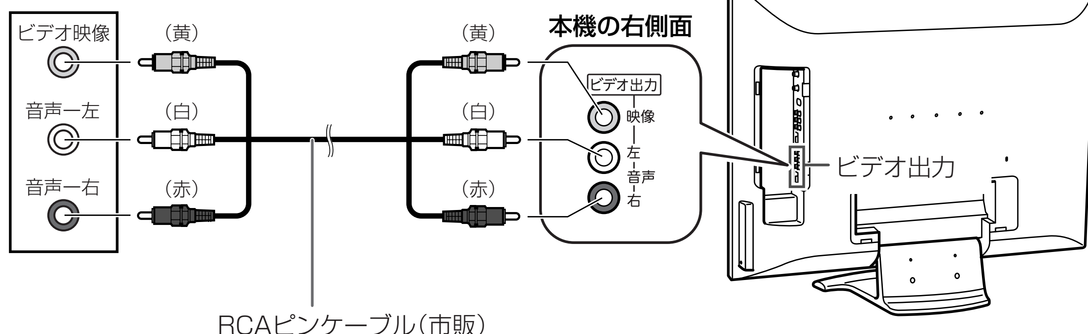
ヘッドホン(市販)を接続することができます。
ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンを用意してください。



ヘッドホン接続中の音声について

- 本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。
  また、「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変1」または「可変2」に設定されているときは、音声出力端子からの音も聞こえなくなります。
- ヘッドホンから出力される音声に、バーチャルドルビーサラウンドの効果はありません。また、「音声調整」メニューの調整はできません。

映像や音声を外部機器に出力する



ビデオ出力端子からは、表示中の映像と音声が出力されます。
ただし、入力される端子により、映像が出力されない場合があります。

テレビの映像	○
映像入力端子からの映像	○
S2映像入力端子からの映像	○
D4映像入力端子からの映像	×
PC入力端子からの映像	×

ビデオ出力端子を利用するときは、使用シーンに合わせて、「機能切換」メニューの「音声出力選択」を設定してください。(☞64、76ページ)

- 固定 ：ビデオデッキを接続して録画をする場合など。
  音声出力端子の音量は固定されます。
- 可変1：本機の映像を見ながら、本機のスピーカーと外部スピーカー両方の音声を楽しむ場合など。
  ＋音量－ で外部スピーカーと本機のスピーカー両方の音量が調節できます。
- 可変2：本機の映像を見ながら、外部スピーカーだけの音声を楽しむ場合など。
  本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。
  ＋音量－ で外部スピーカーの音量が調節できます。

Memo

- マルチ画面では、操作できる画面の映像と音声が出力されます。

アーム(VESA規格準拠)の取り付けかた

市販のアーム(VESA規格準拠)を取り付けることができます。

ご注意


- アームは、以下の点に注意してお選びください。
  - ・VESA規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴が6箇所で、間隔が100mmのもの
  - ・本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの
- ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。
- 本書とともに、アームの説明書もよくお読みください。
- 本体質量が重いため、通常は2人以上で作業してください。


注意

指をはさんだり、スタンドを落とさないようにご注意ください。
けがの原因になることがあります。


注意

通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。

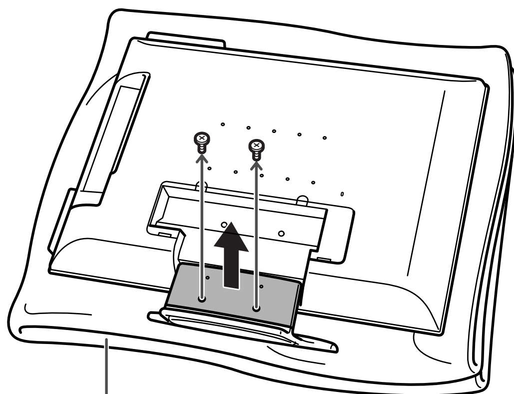
1 本体の[電源]を押し電源を切る。

2 端子カバーを外し、ケーブルを取り外す。

端子カバーの外しかたは、15ページを参照してください。

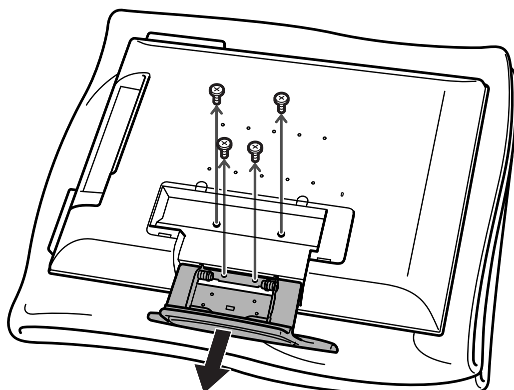
3 安定した水平な場所に厚手の柔らかい布(毛布など)を敷き、液晶パネルを下向きにして置く。

4 ネジ(2本)を外して、スタンド裏面のカバーを取る。



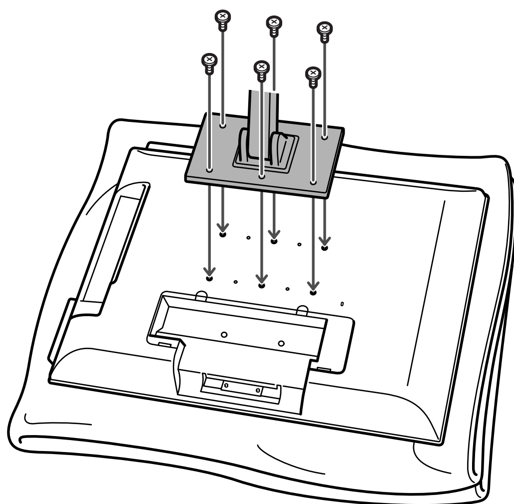
5 ネジ(4本)を外して、スタンドを外す。

スタンドが外れにくい場合は、スタンドを少し持ち上げながら外してください。

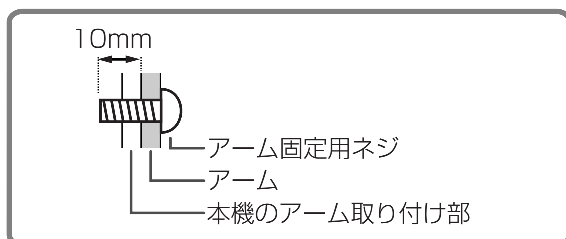


- スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。
- 取り外したネジは、スタンドとともに保管してください。もう一度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると故障などの原因になります。

6 アームをネジ(6本)で固定する。



固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが10mmのM4を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、本機内部の破損の原因になります。



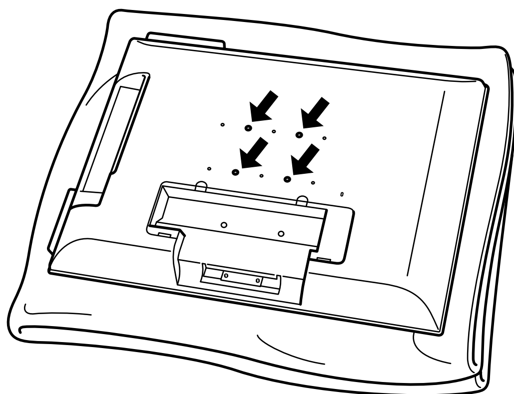
その他の使いかた

7 ケーブルを接続し、端子カバーを取り付ける。

端子カバーの取り付けかたは、25ページを参照してください。

Memo

- ネジ穴が4箇所で、間隔が100mm × 100mmのアームを取り付けることもできます。その場合は、下図の4箇所に取り付けます。
  本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないことを十分に確認してお使いください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- 蛍光管の特性上、使い始めの頃に画面がチラつくことがありますが、故障ではありません。その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

症状	確認してください
画面に何も表示されない （電源ランプが点灯しない）	● 電源コードは正しく接続されていますか。（☞24ページ） ● 電源は入っていますか。（☞44ページ）
リモコンで操作できない	● リモコンの電池が消耗していませんか。 ● リモコンの電池の向きは正しいですか。（☞26ページ） ● 調整ロックが設定されていませんか。（☞82ページ）
ボタンが効かない 調整用の画面が表示されない	● 調整ロックが設定されていませんか。（☞82ページ）
テレビ映像が映らない	● アンテナケーブルが接続されていますか。外れていませんか。（☞16ページ） ● テレビモードに切り換えていますか。（☞45ページ） ● チャンネルは正しく設定されていますか。（☞29ページ） 引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときは、チャンネルの設定が必要な場合があります。
特定のチャンネルが映らない	● チャンネルは正しく設定されていますか。（☞29ページ）
テレビ映像にはん点やしまが出る 映像が揺れる	● 自動車・電車・ネオン・パソコンなどから雑音電波を受けていませんか。 ・アンテナをできるだけ道路やネオンから離れた場所に立ててください。 ・アンテナケーブルがパソコンの近くを通っているときは離してください。
テレビ映像が二重になる	● アンテナの方向がずれていませんか。 近くに山や大きな建物・樹木がある場合、反射電波の影響が考えられます。アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ● GR（ゴーストリダクション）機能で軽減できる場合があります。（☞43ページ）
色のしま模様が出る	● 近くのテレビから妨害電波を受けていませんか。 アンテナの向きや高さを調整すると、良くなる場合があります。
テレビ映像が乱れる	● 一度電源を切り、数秒間隔を空けて電源を入れ直してみてください。
ビデオ映像が映らない ゲーム画面にならない	● ケーブルは正しく接続されていますか。（☞18～20ページ） ● ビデオモードに切り換えていますか。（☞45ページ） ● 接続先機器の電源が入っていますか。

症状	確認してください
テレビ映像、ビデオ映像が動かない	● 静止状態になっていませんか。（☞56ページ）
音が聞こえない	● 音量を調節してください。（☞46ページ） ● オーディオケーブルやRCAピンケーブルは正しく接続されていますか。（☞18～20ページ） ● 消音になっていませんか。（☞81ページ） ● ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。 また、「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変1」または「可変2」に設定されているときは、音声出力端子からの音も聞こえなくなります。 ● 「機能切換」メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。 ● 本機がパワーセーブ状態になっていると、スピーカーの音は鳴りません。
画面に何も表示されない（電源ランプがオレンジ色に点灯している）	● パソコンと正しく接続されていますか。（☞21、22ページ） ● パソコンの電源は入っていますか。 ● パソコン信号の入力端子は正しく選ばれていますか。（☞65ページ） ● パソコンの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（☞95ページ） ● パソコンの省電力機能が動作していませんか。 キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。
パソコン画面が乱れている	● パソコンの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（☞95ページ） ● アナログ接続でお使いの場合は、画面の自動調整をしてください。（☞65ページ） ● お使いのパソコンで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（☞95ページ）
MS-DOS画面が正しく表示できない	● ノートパソコンと接続して、ノートパソコンの画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。
操作ボタンが効かない リモコンのボタンが効かない 画面に何も映らない	● 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。 ・一度本体の電源を入れ直し、動作を確認してください。 ・それでも解決しないときは、電源プラグをコンセントに差し直し、動作を確認してください。
電源ランプが赤色に点滅している	● 通風孔のファンが異常です。 電源を切った後、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。
「Temperature」のメッセージが表示された	● 異常により機器内部の温度が上昇すると表示されます。その後、自動的に電源が切れて待機状態になります。 次の点を確認してから、電源を入れ直してください。 ・本機の設置状態や場所が、温度の上がりやすい状態にないか。 ・通風孔がふさがれていないか。 ・通風孔にほこりがたまっていないか。 ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。（機器内部にほこりがたまっている場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。）

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意


- シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
- 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

ご注意


- ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

■ キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■ 液晶パネル部分

- 液晶パネルの表面の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）
- ほこりのついた布や化学雑巾、洗剤などは使わないでください。液晶パネルに傷がついたり、故障の原因になります。

蛍光管について

- 本機に使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルにご協力ください。

保管にあたって

- 長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

リサイクルについて

使用済み液晶マルチメディアモニターを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。

■個人でお使いのお客様へ



IT-32M2は、家庭系パソコンリサイクル対象製品です。
新たな料金のご負担なしで弊社が回収・再資源化いたします。

《排出時の連絡先》
シャープ（株）PCリサイクルセンター
ホームページ：
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/home.html

 0120-845-530

受付時間：午前9時〜午後5時（月曜日〜土曜日）
※日曜日、祝日、年末・年始など弊社休日は休ませていただきます。
※フリーダイヤルについて：携帯電話・PHSからはかけられません。一般の電話でおかけください。
※電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。

■法人のお客様へ

リサイクルについては、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/business.html

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から１年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- 品名:液晶マルチメディアモニター
- 形名: IT-32M2
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご住所(付近の目印も併せてお知らせください。)
- お名前
- 電話番号
- 訪問希望日

保証期間中

- 保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(☞93ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は……　**修理相談窓口**　へ

・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は……　**お客様相談センター**　へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2005 年４月現在)

修理相談窓口

パソコン修理相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前９時～午後６時　※日曜日・祝日：午前 10 時～午後５時 (年末年始を除く)

【パソコン修理相談センター】



0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTT より通話料金の目安をお知らせいたします。
(注)携帯電話・PHS からはナビダイヤルをご利用いただけません。
　　下記一般電話番号におかけください。

携帯電話／ PHS の方は一般電話へ .... 東日本地区 043-351-1831　西日本地区 06-6792-5613

◎修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

＜受付時間＞※月曜日～金曜日：午前９時～午後５時 30 分 (土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所　在　地
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7丁目３－１７
	帯広	〒080-0011	帯広市西１条南２６丁目１９－１
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町１－９
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町８－１３
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通４丁目左１０
	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町３１－１７
青森県	青森	〒030-0121	青森市妙見３－３－４
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田３－５－１
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野２－８－１６
秋田県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻町大川反１７０－５６
岩手県	岩手	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南３－１－１
	釜石	〒028-0522	遠野市新穀町３－３
宮城県	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東３－１－２７
山形県	山形	〒990-0023	山形市松波２－６－５
福島県	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁３３－１
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ケ丘３７－１０
新潟県	新潟	〒950-0993	新潟市上所中１－７－２１
栃木県	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前４－２－４１
群馬県	群馬	〒371-0855	前橋市問屋町１－３－７
茨城県	茨城	〒310-0851	水戸市千波町１９６３
埼玉県	さいたま	〒331-0812	さいたま市北区宮原町２－１０７－２
東京都	江東	〒130-0011	東京都墨田区石原２－１２－３
	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込１－５－１５
	東京	〒114-0013	東京都北区東田端２－１３－１７
	多摩	〒191-0003	日野市日野台５－５－４
千葉県	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬１－９－２
	千葉	〒270-2231	松戸市稔台２９５－１
	東千葉	〒289-2132	八日市場市高字東２７７９－４
	木更津	〒299-0115	市原市不入斗１５５５－１
神奈川県	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原１－２－２３
	湘南	〒254-0013	平塚市田村４－１４－３６
	相模原	〒229-1122	相模原市横山２－２－１２
山梨県	山梨	〒400-0049	甲府市富竹２－１－１７
静岡県	静岡	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂１１７０番１
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町１１－４
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町１４７６－２
長野県	松本	〒399-0002	松本市芳野８－１４
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢６８７７－１
愛知県	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王３－５－５
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町１－２１
	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口１７－１
岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南３－１２－９
三重県	三重	〒514-0131	津市あのつ台４－６－４
富山県	富山	〒930-0906	富山市新庄北町５－６３
石川県	金沢	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚４－１０３
福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町６２５
滋賀県	滋賀	〒520-2151	大津市栗林町１１－３５
京都府	京都	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町４８
	北近畿	〒620-0054	福知山市末広町６－１３
大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西１－２－９
	大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南３－７－１９
	南大阪	〒597-0062	貝塚市沢１２１５
	北大阪	〒567-0831	茨木市鮎川５－１５－３
兵庫県	阪神	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺３－２－１０
	姫路	〒671-2222	姫路市青山５－７－７
奈良県	奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町４９２
和歌山県	和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里２－４－９１
	南紀	〒646-0051	田辺市稲成町８０－２
鳥取県	鳥取	〒680-0942	鳥取市湖山町東 4-27-1
岡山県	岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾８２８
島根県	松江	〒690-0017	松江市西津田３－１－１０
広島県	広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原２－１３－４
	東広島	〒739-0142	東広島市八本松東４－３－３０
	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷２７２－１
山口県	山口	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町４－１２
	東山口	〒744-0011	下松市西豊井１７３－１
香川県	高松	〒760-0065	高松市朝日町６－２－８
徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中常三島町３－１１－１４
愛媛県	愛媛	〒791-8036	松山市高岡町１７８－１
高知県	高知	〒781-8104	高知市高須１－１４－４３
福岡県	福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田２－１２－１
	南福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野３－１２－４７
	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町６－１２
長崎県	長崎	〒856-0817	大村市古賀島町６１３－３
大分県	大分	〒870-0913	大分市松原町３－５－３
熊本県	熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷３－１５－１７
	天草	〒863-0021	本渡市港町１９－３
宮崎県	宮崎	〒880-0007	宮崎市原町４－１２
鹿児島県	鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町１２－１
	奄美	〒894-0035	名瀬市塩浜町８－１
沖縄県	那覇	〒900-0002	那覇市曙２－１０－１
	先島	〒906-0013	平良市下里２１４－４

お客様相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前９時～午後６時　※日曜日・祝日：午前 10 時～午後５時 (年末年始を除く)

東日本相談室　電話 **043-299-8021**　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-9-2

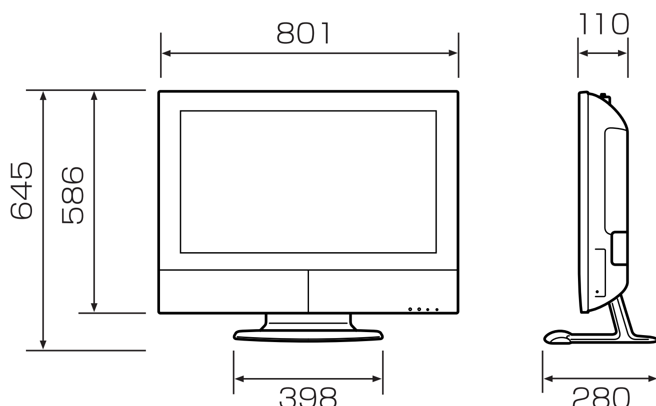
西日本相談室　電話 **06-6794-8021**　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72

主な仕様

■ 製品仕様

機種名	IT-32M2
液晶表示素子	32型ワイド（対角80.0cm）ASV方式低反射ブラックTFT液晶
最大解像度	1366×768
最大表示色	約1677万色（8ビット）
画素ピッチ	水平0.511mm×垂直0.511mm
最大輝度	450cd/m² ※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。
コントラスト比	800：1
視野角	左右170°／上下170°（コントラスト比≧10）
表示画面サイズ	横697.7mm×縦392.3mm
映像入力信号	アナログRGB(0.7Vp-p)［75Ω］ デジタルDVI規格1.0準拠
同期入力信号	水平／垂直セパレート（TTL：正／負）、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク（TTL：正／負）
ビデオ信号方式	NTSC
拡大補正	デジタルスケーリング（VGA/SVGA/XGAなどを補正して拡大表示） ※全画面への拡大表示または、アスペクト比（縦横比）固定での拡大表示。 1：1での表示はできません。
プラグ＆プレイ	VESA DDC2B対応
パワーマネージメント	VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠
スピーカー出力	総合20W
入力端子	パソコン信号 アナログ　：ミニD-sub15ピン（3列）（1系統） デジタル　：DVI-D24ピン（1系統） パソコン音声：φ3.5mmミニステレオジャック（1系統） ビデオ映像　：RCAピン（3系統） D4映像　：2系統 S2映像　：2系統 音声　：RCAピン（L/R 3系統） アンテナ　：F-Type
出力端子	ビデオ映像　：RCAピン（1系統） 音声　：RCAピン（L/R 1系統） ヘッドホン　：φ3.5mmミニステレオジャック アンテナ　：F-Type
受信チャンネル（テレビ）	VHF：1～12、UHF：13～62、CATV：C13～C63
画面角度調整	チルト：上向きに約0～5°／下向きに約0～5° スイーベル：左右合わせて約30°（ターンテーブル式）
電源	AC100V　50/60Hz
使用温度条件	5～35℃
消費電力	147W、待機時0.1W、パワーセーブ時1.0W
外形寸法	幅約801mm×奥行約280mm×高さ約645mm
質量	約19.9kg（信号ケーブル含まず）、約17.0kg（ディスプレイ部のみ）
梱包時寸法	幅約923mm×奥行約365mm×高さ約730mm
梱包時質量	約28kg

■ 外形寸法図(単位mm)



付属ケーブルの長さ
PCアナログ信号ケーブル　：約1.8m
PCオーディオケーブル　：約1.8m
アンテナケーブル　：約4m
電源コード　：約1.8m

別売ケーブルの長さ
デジタル信号ケーブル（形名：NL-C04J）：約2.0m

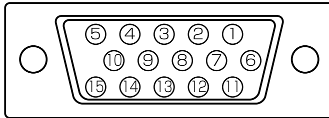
■ 対応信号タイミング(PCモード)

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	アナログ	デジタル
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz	○	○
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz	○	○
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz	○	○
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz	○	—
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz	○	○
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz	○	○
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz	○	○
	848×480	31.0kHz	60Hz	33.75MHz	○	○
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz	○	○
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz	○	○
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz	○	○
	1280×768	47.8kHz	60Hz	79.5MHz	○	○
		60.3kHz	75Hz	102.25MHz	○	○
	1360×768	47.7kHz	60Hz	85.5MHz	○	○
ワイド	1280×720	44.7kHz	60Hz	74.4MHz	○	○
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz	○	○
Power Macintosh シリーズ	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz	○	—
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz	○	—
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz	○	—

※ 推奨解像度は、1360×768、1280×768、1024×768です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するパソコンによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ Power Macintoshシリーズの各周波数は参考値です。接続には市販の変換アダプターが必要になることがあります。
※ デジタル接続の場合、DVI準拠の出力端子(DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン)を持つパソコンと接続できます。(接続するパソコンによっては正しく表示されないことがあります。)
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合は、お使いのパソコンの説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■ アナログ信号入力端子のピン配列

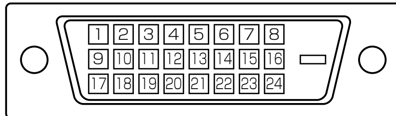
（ミニD-sub15ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ DVI-D入力端子のピン配列

（DVI-D24ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2−	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0−
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1−	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック−

■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPMに準拠しています。本機のパワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやパソコンも同規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	147W	あり	あり
STANDBY	無表示	1.0W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM：Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	147W
Active OFF	無表示	1.0W

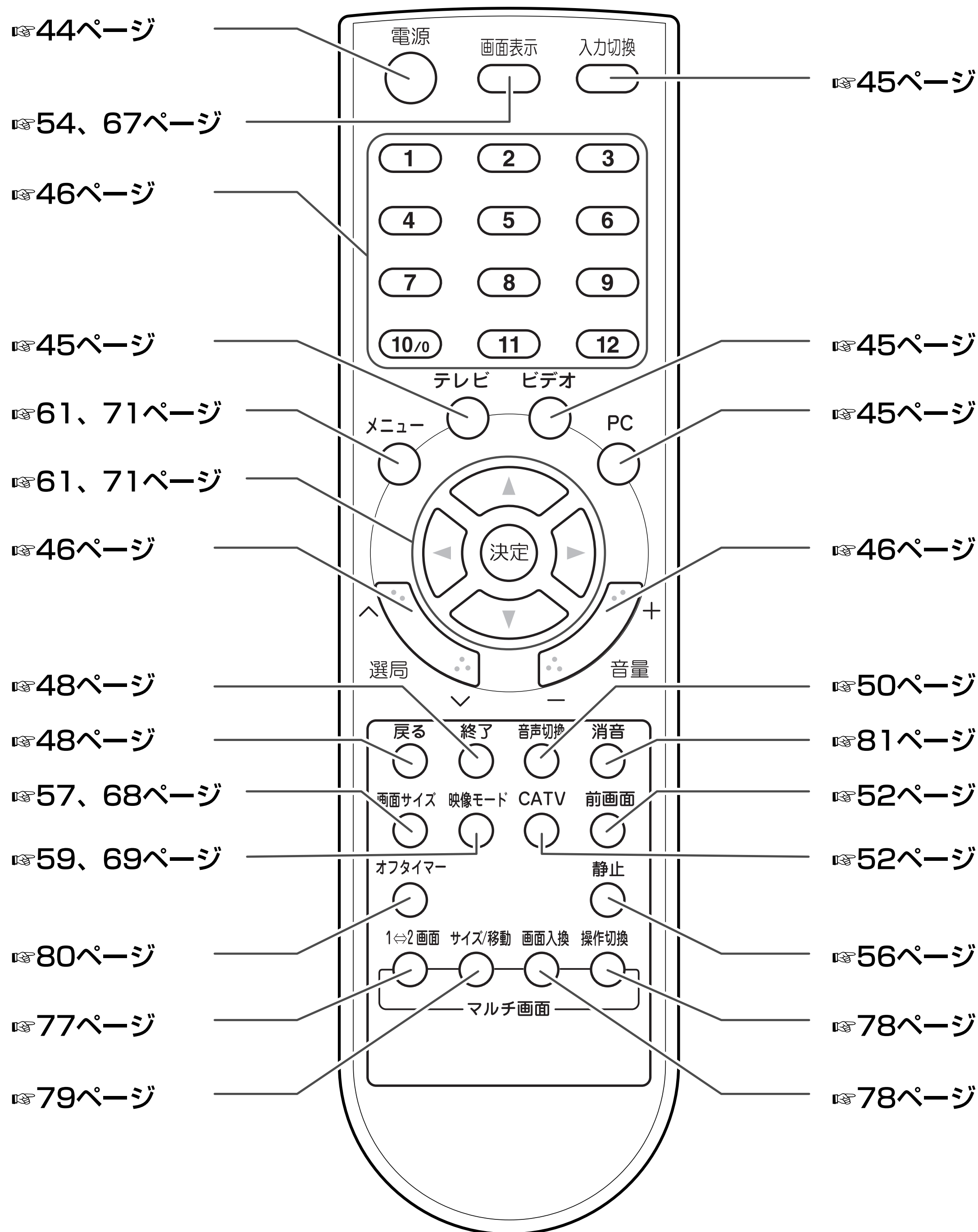
■ DDC（プラグ＆プレイ）

本機は、VESAのDDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDCとは、モニターとコンピュータのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータがDDCに対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

MEMO

MEMO

リモコン機能一覧


☞44ページ
電源
画面表示
入力切換
☞45ページ
☞54、67ページ
☞46ページ
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
☞45ページ
テレビ
ビデオ
☞45ページ
☞61、71ページ
メニュー
PC
☞45ページ
☞61、71ページ
決定
☞46ページ
☞46ページ
選局
音量
☞48ページ
☞50ページ
☞48ページ
戻る
終了
音声切換
消音
☞81ページ
☞57、68ページ
画面サイズ
映像モード
CATV
前画面
☞52ページ
☞59、69ページ
☞52ページ
オフタイマー
静止
☞80ページ
☞56ページ
1⇔2画面
サイズ/移動
画面入換
操作切換
☞77ページ
マルチ画面
☞78ページ
☞79ページ
☞78ページ

●製品についてのお問い合わせは‥			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL 043-299-8021	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6794-8021	FAX 06-6792-5993

《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)

●修理のご相談は‥	93ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/lcd-display/

(2005年7月現在)

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in China
561530120001
0LTCY30120001 ③